

岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画

令和3年 2月 策定

令和7年 12月 改定

令和8年 3月 改定

岩手県文化スポーツ部

岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画

目次

第1章 総論.....	1
1 はじめに.....	1
(1) 個別施設計画の必要性・目的.....	1
(2) 対象施設.....	2
(3) 計画期間.....	2
2 基本的な取組方針.....	2
(1) 基本的な取組事項.....	2
(2) 重点的な取組事項.....	3
3 長寿命化対策の優先順位の考え方.....	3
(1) 施設評価（一次評価（定量評価））.....	4
(2) 施設評価（二次評価（定性評価））.....	8
(3) 今後の方向性.....	9
4 対象施設の現状把握.....	10
5 施設保有の最適化に向けた取組.....	12
(1) 社会経済情勢等の変化への対応.....	12
(2) 公共施設の有効活用.....	12
(3) 対象施設の方向性.....	12
6 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組.....	12
(1) 長寿命化対策の概要.....	12
(2) 施設の目標使用年数.....	13
7 環境負荷低減とユニバーサルデザイン化に向けた取組.....	13
8 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組.....	13
9 長寿命化等対策の概算経費等.....	14
(1) 計画期間中に必要と見込まれる概算経費.....	14
(2) 今後30年間に必要と見込まれる概算経費.....	14
第2章 所管施設ごとの対応方針.....	15
1 岩手県公会堂.....	16
2 岩手県民会館.....	19
3 岩手県立平泉世界遺産ガイドランスセンター.....	22
4 岩手県営運動公園.....	25
5 岩手県営体育館.....	31
6 岩手県営スケート場.....	34
7 岩手県営武道館.....	38
8 岩手県立御所湖広域公園艇庫.....	42
9 岩手県勤労身体障がい者体育館.....	45
10 岩手県営屋内温水プール.....	48
○ 旧岩手県営野球場.....	51

第1章 総論

1 はじめに

(1) 個別施設計画の必要性・目的

岩手県では、高度経済成長期から昭和50年代を中心に、社会情勢や県民ニーズの変化に対応して、数多くの公共施設等を建設し、各種の公共サービスを提供してきたが、現在、これら公共施設等の老朽化が進んでおり、今後一斉に大規模修繕・更新の時期を迎え、多額の経費が必要となること、また、人口減少や少子高齢化など社会情勢や県民ニーズの変化、これに伴う社会保障関係費の増加や公債費の高水準での推移等により、厳しい財政状況が見込まれている。

こうした状況を踏まえ、早急に公共施設等の全体状況を把握し、計画的な更新や長寿命化、施設配置の最適化により、財政負担の軽減、平準化を図るなど長期的な視点に立った公共施設マネジメントを推進するため、県では平成28年3月に「岩手県公共施設等総合管理計画」を策定し、令和7年12月には「第2期岩手県公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定した。

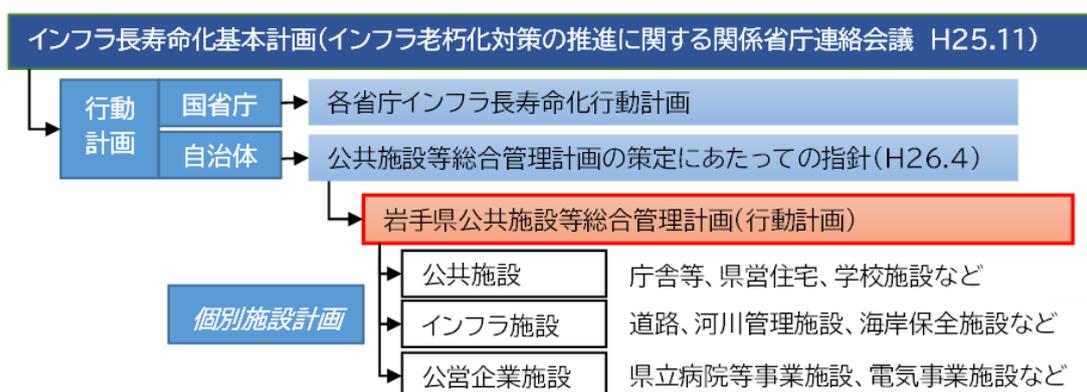
総合管理計画では、「コスト縮減・財政負担の平準化」「施設規模・配置・機能等の適正化」「安全・安心の確保」の3つの基本方針を柱とし、9つの具体的な取組方針に基づき、本県の公共施設等の総合的かつ計画的なマネジメントを推進することとしている。

岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画は、総合管理計画に基づく、長期的な視点に立った公共施設等マネジメントの取組を推進するための具体的な計画として文化スポーツ部が所管する施設について策定するものである。

この計画では、施設の利用状況や建物性能、維持管理コストなどの定量的な情報による一次評価、また、施策上の必要性や代替可能性といった定性的な情報による二次評価を行い、その結果に基づき施設の必要性や大規模施設等整備事業の優先度などを定め、戦略的な維持管理・更新等を推進し、実効的な対策の取組を推進するものである。

なお、これらの評価結果をもって直ちに当該施設の取扱いを定めるものではなく、施設をめぐる社会情勢及び本県の財政状況を考慮し、総合管理計画の趣旨を踏まえて実行していくものである。

■本県における個別施設計画の位置付け■



(2) 対象施設

令和7年4月1日現在における文化スポーツ部所管の公共施設を対象とし、対象施設数・面積等は次のとおりである。

【施設類型】

県民利用施設：10施設 63棟 73,042 m²

(主な施設：岩手県民会館、岩手県営運動公園)

(3) 計画期間

計画期間は令和2年度から令和16年度までとし、施設ごとの具体的な対策は、今後5年間（令和7年度～令和11年度）で取り組むものとする。

また、社会情勢の変化や計画の進捗状況を勘案し、概ね5年を目安に計画を更新することとする。これにかかわらず見直しが必要な場合は適宜更新を行うこととする。

2 基本的な取組方針

(1) 基本的な取組事項

建築基準法など法令に基づく定期点検の実施や、施設の耐震化により、県民や施設利用者等の安全・安心の確保に努める。

今後は、老朽化に伴う維持管理や修繕、更新等に要する経費の増大が懸念されることから、施設の利用状況、人口減少や少子高齢化などによる施設利用需要の変化等を見据えた施設規模・総量等の適正化を図るとともに、計画的な維持管理・長寿命化を推進する。

(2) 重点的な取組事項

ア 施設保有の最適化に向けた取組

人口動態など社会情勢の変化に対応し、縮小可能な施設の統合や廃止について検討するなど、情勢の変化に合せた施設保有の最適化に向けて取り組む。

施設保有の最適化の検討に当たっては、計画的な公共施設マネジメントに取り組む市町村や類似サービスを提供する民間事業者との役割分担や連携についても検討するとともに、人口動態に対応した公共施設の施設規模や配置、機能等の適正化に取り組む。

イ 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

建物性能・劣化度など老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案しつつ、今後とも長期間にわたり、県が保有し行政サービスを提供することが適当な施設を選別して計画的に長寿命化を実施する。

計画的な維持管理と長寿命化の推進により、公共施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。

ウ 環境負荷低減とユニバーサルデザイン化に向けた取組

施設の改修や更新に当たっては、再生可能エネルギー導入の検討や環境に配慮した材料選定、施設の長寿命化による建設廃棄物の発生抑制、照明器具のLED化など環境負荷の低減に取り組むとともに、すべての人が安全で快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインに対応した施設の改修・更新に取り組む。

エ 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

計画的な耐震化の推進や定期・日常的な点検・診断結果を受けた適時適切な修繕により、公共施設に求められる機能を維持・強化し、県民、施設利用者等の安全・安心の確保に取り組む。

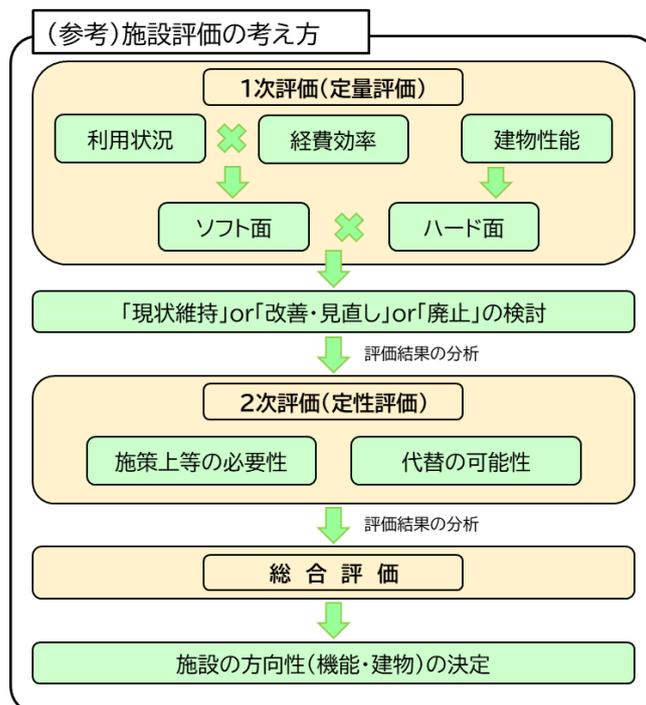
3 長寿命化対策の優先順位の考え方

将来の人口減少や今後の財政見通しを踏まえた、公共施設の維持管理及び行政サービスの提供を持続可能なものとしていくため、公共施設の施設規模・総量の適正化に向けた取組・検討を進めていく。

この検討に当たっては、施設の基本情報や利用状況、維持管理コストなどを把握・整理する必要があることから、施設ごとに「公共施設カルテ」を作成の上、利用状況や建物性能等に関する評価（定量評価）と、施策上の必要性や代替可能性に関する評価（定性評価）をした上で、建物の更新や複合化、長寿命化改修などの対策の優先付けを総合的に評価する。

ただし、小規模な施設（概ね200㎡未満の施設）については、公共施設カルテの作成の対象外とする。

■施設評価のイメージ



(1) 施設評価（一次評価（定量評価））

一次評価（定量評価）は、利用状況及び経費効率のソフト面と、建物性能のハード面との2軸を用いて評価する。

ア 「利用状況」及び「経費効率」（ソフト面）の評価

- ① 次の評価基準等に従い評価し、評価点数を集計する。

■利用状況に関する評価（令和5年度実績値による評価）

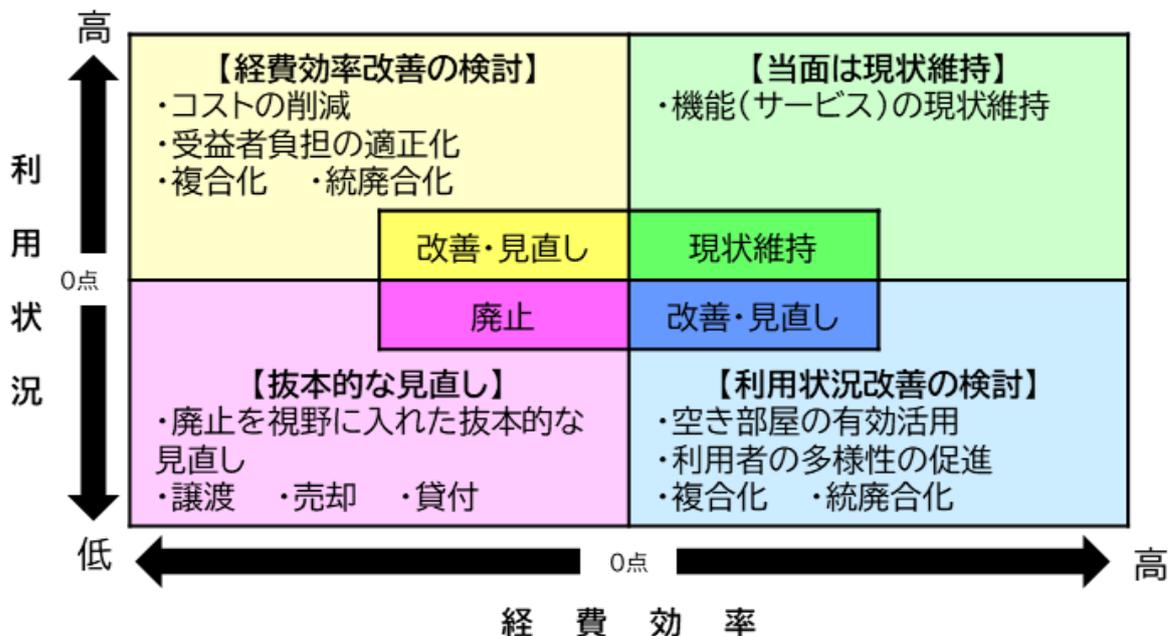
No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	年間利用者数	2	過去3か年平均と比較して、増えた
		1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた
		-1	過去3か年平均と比較して、やや減った
		-2	過去3か年平均と比較して、減った
2	利用状況	1	有効的・効果的に活用され、遊休設備や空き部屋はない
		-1	遊休設備や空き部屋がある 稼働率が2割に満たない部屋が2つ以上ある
3	防災関連施設	1	災害時の「緊急避難場所」「避難所」に指定されている施設 災害時に防災拠点として使用する施設

■経費効率に関する評価（令和5年度実績値による評価）

No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	年間コスト	1	過去2か年平均と比較して、改善した
		-1	過去2か年平均と比較して、悪化した
2	1㎡当たりの維持管理費	2	他施設と比較してかなり少ない
		1	他施設と比較して少ない
		-1	他施設と比較して多い
		-2	他施設と比較してかなり多い
3	利用者1人当たりの県負担額	2	他施設と比較してかなり少ない
		1	他施設と比較して少ない
		-1	他施設と比較して多い
		-2	他施設と比較してかなり多い
4	支出に対する直接的収入の割合	2	かなり多い
		1	多い
		-1	少ない
		-2	かなり少ない

② 点数化した利用状況及び経費効率の2軸で類型化し、課題と対応策について整理する。

■施設評価(1次評価・ソフト面)概念図



③ 利用状況及び経費効率の集計点を合計し、ソフト面の評価点数とする。

イ 建物性能（ハード面）の評価

次の評価基準等に従い評価し、評価点数を集計する。

■建物性能に関する評価（令和5年度実績値等による評価）

No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	耐震性	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
		2	耐震改修不要 （昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
		2	耐震改修済 （昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
		-2	耐震診断未実施、耐震改修未実施 （昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施・耐震改修未実施）
2	老朽化 （日常点検）	2	点検結果 修繕の必要性低い（危険度：低い）
		1	点検結果 経過観察（危険度：やや低い）
		-1	点検結果 経過観察（危険度：やや高い）
		-2	点検結果 修繕の必要性あり（危険度：高い）
3	老朽化 （改修コスト）	2	修繕・改修の必要がない
		1	軽微な修繕・改修が必要
		-1	中規模な修繕・改修が必要
		-2	大規模な修繕・改修が必要
4	有形固定資産 減価償却率	2	他施設と比較して低い
		-2	他施設と比較して高い

老朽化の判定方法

日常点検による老朽化の判定については、岩手県公共施設点検マニュアルの「日常点検チェックシート」に従い、毎年職員が実施する点検結果により判定された危険度を用いて評価する。

ア 危険度の判定

危険度は、下記9項目ごとに「劣化度」と「重要度」により判定する。

■劣化度の判定項目・部位

項目	主な部位
No.1 外構等	① 舗装、側溝
	② 塀、擁壁、門、フェンス
No.2 屋上・屋根	③ 屋根葺き材、防水層
	④ 屋上金物類（手すり、タラップ、雨樋、看板等）
No.3 外壁	⑤ 外壁
	⑥ 屋外階段、給排気口

項目	主な部位
No. 4 外部建具 他	⑦ 外部建具、外部金物類
	⑧ 外部階段、バルコニー
No. 5 内部	⑨ 天井、内壁
	⑩ 階段、手すり
No. 6 電気設備	⑪ 受変電設備、自家用発電設備
	⑫ 分電盤設備、照明設備
No. 7 給排水設備	⑬ 給水設備、排水設備
	⑭ ガス設備
No. 8 空調設備	⑮ 暖房・空調・換気設備
No. 9 防災設備	⑯ 防火戸、自動火災報知設備
	⑰ 消火設備、排煙設備

9つの項目ごとに異常の有無等(A～C)による点数で、その項目の危険度を判定する。

$$\boxed{\text{項目の危険度}} = \boxed{\text{劣化度}} + \boxed{\text{重要度}}$$

※劣化度・・・施設の劣化状況を点検し、判断する。

※重要度・・・建物全体の安全性・機能性の確保に及ぼす影響

イ 危険度の算定

$$\boxed{\text{危険度 100点}} = \boxed{\text{劣化度 (60点)}} + \boxed{\text{重要度 (40点)}}$$

$$\boxed{\text{劣化度}} \text{ 重み付け (12点)} \times \text{劣化度 (5.3.1点)} = 60\sim 12\text{点}$$

$$\boxed{\text{重要度}} \text{ 重み付け (10点)} \times \text{重要度 (4.3.2.1点)} = 40\sim 10\text{点}$$

※ 重み付けとは、評価する項目ごとに、それぞれの重要度に応じて5.3.1などの重みを付け、集計して評価する方法

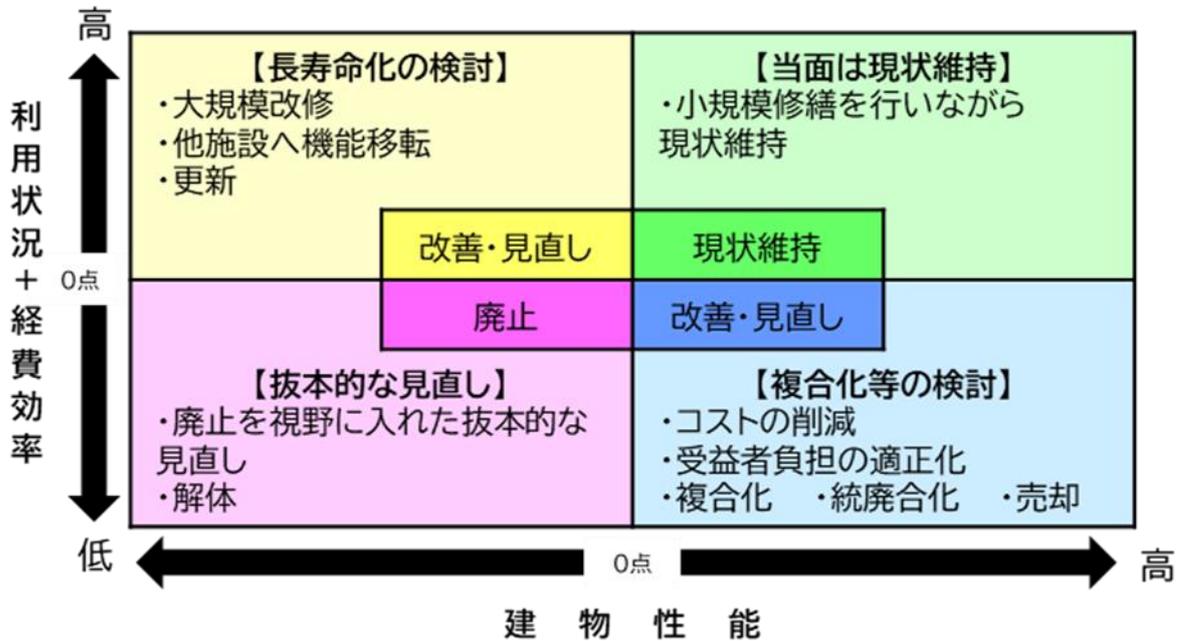
■劣化度・重要度の判定基準等

項目	配点	判断基準
劣化度	5点	著しく劣化が進んだ状態
	3点	少し劣化が進んだ状態
	1点	健全な状態
重要度	4点	特に安全性に関わる
	3点	計画保全にすべき
	2点	計画保全が望ましい
	1点	適正維持管理

9つの項目ごとに危険度を算定し、それらの平均値を「老朽化(日常点検)」の評価点数とする。

ウ 「ソフト面」と「ハード面」の2軸評価

利用状況及び経費効率によるソフト面の評価と、建物性能によるハード面の評価を2軸で類型化し、一次評価（定量評価）の結果とする。



(2) 施設評価（二次評価（定性評価））

二次評価（定性評価）は、一次評価の結果を踏まえて「施策上等の必要性」及び「代替の可能性」の観点について、次の評価基準等により評価を行い、それぞれの評価を分析し、二次評価の結果とする。

■ 施策上等の必要性に関する評価

No.	評価項目	評価	評価基準
1	設置目的の有効性	高	施設の設置目的と現在の利用状況が合致している
		低	施設の設置目的と現在の利用状況が合致していない
2	法令等の設置義務	高	施設の設置が法律により義務付けられている
		低	施設の設置が法律により義務付けられていない
3	施策上の必要性	高	施策の目的を達成するための必要性が高い
		低	施策の目的を達成するための必要性が低い
4	建物の必要性	高	施設の機能（目的）を提供するために建物が必要不可欠
		低	施設の機能（目的）を提供するために建物が必要とは言い難い

■代替の可能性に関する評価

No.	評価項目	評価	評価基準
1	市町村・民間移管の可能性	高	市町村・民間事業者に当該施設を移管することができない
		低	市町村・民間事業者に当該施設を移管することができる
2	他の県有施設との集約化等の可能性	高	他の県有施設との集約化等ができない
		低	他の県有施設との集約化等ができる
3	近隣類似施設による代替の可能性	高	近隣の類似施設へ当該施設の機能を移転することができない
		低	近隣の類似施設へ当該施設の機能を移転することができる

(3) 今後の方向性

一次評価（定量評価）及び二次評価（定性評価）の結果を勘案し、総合的に個別施設の「今後の方向性」を判定する。

「今後の方向性」は、機能と建物の観点から、それぞれ次のとおり整理する。

■機能の方向性

区分	判断基準
現状維持	現在の機能を現在の場所で維持する
機能移転	現在の機能を他の公共施設又は別の場所に移転する
複合化	現在の機能を異なる機能を有する建物とまとめる
集約化	現在の機能を同じ機能を有する建物とまとめる
廃止	現在の機能を廃止する

■建物の方向性

区分	判断基準
現状維持	現在の建物を適正な日常補修を実施し、維持する
更新	現在の建物を更新する（建て替え）
長寿命化改修	現在の建物を築後概ね45年経過時に劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修（大規模改修）を実施する
耐震診断	現在の建物が耐震診断未実施であるため、耐震診断を実施する
耐震改修	現在の建物が耐震改修未実施であるため、耐震診断を実施する
貸付	現在の建物を民間事業者等へ貸し付ける
解体	現在の建物を解体し、解体後の土地を活用する
売却・移管	現在の建物を土地と併せ市町村や民間事業者等に売却する

■長寿命化対策の優先度評価

		建物の方向性						
		高					低	
機能の方向性	高	現状維持	更新	長寿命化改修	耐震診断・改修	貸付	解体	売却・移管
		現状維持	優先度1	優先度2	優先度3	優先度4		
		機能移転	優先度2	優先度3	優先度4	優先度5		
		複合化	優先度3	優先度4	優先度5	優先度6	【優先順位:低】 大規模改修の必要なし ※日常整備により施設を維持 ※用途廃止後、解体又は移管	
		集約化	優先度4	優先度5	優先度6	優先度6		
		廃止	【当面 大規模整備不要】 ※日常整備により施設を維持				【優先順位:高】 更新・大規模改修の必要あり ※SRC・RC造▶長寿命化改修により 目標耐用年数を100年 ※その他構造▶日常的補修により 目標耐用年数を法定耐用年数	
低								

機能の方向性と建物の方向性による評価を組み合わせ、更新・長寿命化対策に係る対象経費の平準化を図るための優先順位づけの指標として活用する。

4 対象施設の現状把握

＜所管施設の概況及び老朽化等の状況＞

1 (2)記載の対象施設について、岩手県公共施設個別施設計画策定指針（令和6年12月。以下「指針」という。）に基づき、対象施設の利用状況や維持管理コスト等及び建物、電気・機械設備等の概要や定期点検の実施状況等について確認し、今後の方向性等の検討を行う。

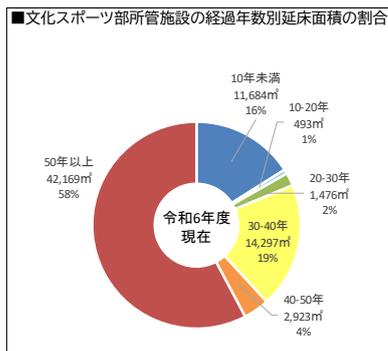
また、所管施設における老朽化等の状況は、劣化度調査等の実施状況や定期点検、修繕工事の実施履歴等により確認し検討を行う。

【施設類型】

県民利用施設：10施設 63棟

建築面積 48,799 m² 延床面積 73,042 m²

※建築から50年以上経過し老朽化した建物は、全体の約6割を占めている。



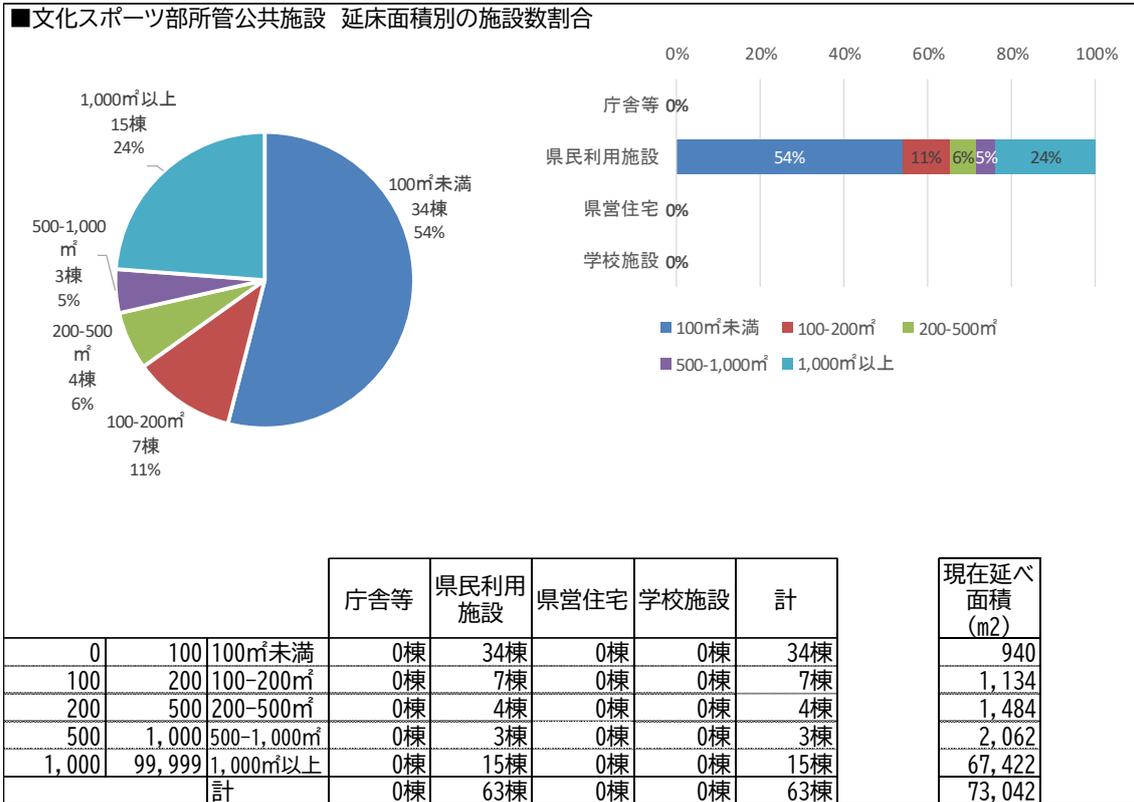
■ 文化スポーツ部保有の公共施設 [令和7年4月1日時点]

施設類型（用途）：県民利用施設（体育館、博物館、ホール等）

施設数（棟数）：63

延床面積（1棟あたり）：73,042 m²（1,159 m²）

※公共施設カルテ対象外の小規模（延床面積200 m²以下）の施設も含む。



<公共施設カルテ対象施設> ※原則、延床面積200 m²以上

No	施設名	所在地	建築年度	築年数	延床面積 (m ²)	今後の方向性(たたき台)
						機能/建物 【優先度】
1	岩手県公会堂	盛岡	昭和2年度	97年	3,569.42	現状維持/長寿命化改修 【優先度2】
2	岩手県民会館	盛岡	昭和47年度	52年	18,583.71	現状維持/長寿命化改修 【優先度2】
3	岩手県立平泉世界遺産 ガイドンスセンター	平泉	令和3年度	4年	2,424.74	現状維持/現状維持 【優先度 -】
4	岩手県営運動公園	盛岡	昭和41年度	58年	6,012.99	現状維持/長寿命化改修 【優先度2】
5	岩手県営体育館	盛岡	昭和42年度	57年	6,343.37	集約化/更新 【優先度4】

No	施設名	所在地	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	今後の方向性(たたき台)
						機能/建物 【優先度】
6	岩手県営スケート場	盛岡	昭和47年度	51年	3,405.20	廃止/解体 【優先度 -】
7	岩手県営武道館	盛岡	昭和61年度	38年	7,719.51	現状維持/長寿命化改修 【優先度2】
8	岩手県立御所湖 広域公園艇庫	盛岡	昭和58年度	41年	1,224.70	現状維持/現状維持 【優先度 -】
9	岩手県勤労身体障がい者 体育館	盛岡	昭和51年度	48年	1,269.50	集約化/売却・移管 【優先度 -】
10	岩手県営屋内温水 プール	雫石	平成5年度	31年	6,115.85	廃止/売却・移管 【優先度 -】

5 施設保有の最適化に向けた取組

(1) 社会経済情勢等の変化への対応

人口減少や少子高齢化などに伴う利用状況の変化、中期的な整備・維持管理コストの見通し、市町村との連携や役割分担等を考慮し、施設の維持管理方法、整理・統合等を検討する。

(2) 公共施設の有効活用

施設の集客力を考慮しながら、ホール等の命名権を対象としたネーミングライツ事業や自動販売機設置などによる収入確保に向けた取組を引き続き実施する。

指定管理者の創意工夫により、地域の特性や施設の特質を生かした様々な取組を行うことで、利用者の増加を図るとともに満足度の向上に努める。

(3) 対象施設の方向性

ア 文化施設

文化施設については、その施設規模や利用状況、歴史的価値などを考慮し、今後も長寿命化を図りながら、その機能を維持していく。

イ スポーツ施設

スポーツ施設については、市町村が整備した施設が充実したことも踏まえ、施設についての県・市町村の連携や役割分担等を考慮し、老朽化した県営スポーツ施設の整理・統合等を検討する必要がある。

6 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

(1) 長寿命化対策の概要

対象施設の老朽化の状況や利用状況、長寿命化対策によるコスト削減効

果などを総合的に勘案し、施設特性や老朽化の状況に応じた適切な時期での対策を講じるよう努める。

具体には、日常点検による維持修繕を必要最小限の対応としながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

また、同様の機能を有する県営施設を集約化し長期的に維持していくことも併せて検討する。

ア 修繕（更新）

部位・部材の耐用年数を考慮して定期的を実施するとともに、発注にあたっては、仮設コストの縮減や工期の短縮等のため、工事の一括発注についても考慮する。

【目標修繕（更新）周期】

竣工後20年	竣工後40年	竣工後60年
屋上防水・外壁塗装 空調熱源 ポンプ類	躯体以外の建築全般 電気設備（機材のみ） 機械設備全般	屋上防水 電気設備（機材のみ） 機械設備全般

イ 大規模修繕（リノベーション）

社会経済情勢の変化等により高度化する要求性能に対応させる必要がある場合は、適切な時期を設定し効率的な実施に努める。

(2) 施設の目標使用年数

施設の構造ごとの法定耐用年数を目標使用年数とし、利用状況に応じた計画的な長寿命化対策を実施することで、施設の使用年数を延ばしながら施設を取り巻く状況に応じて柔軟に対応する。

7 環境負荷低減とユニバーサルデザイン化に向けた取組

照明器具のLED化など環境負荷の低減に取り組むとともに、施設の特性に応じてユニバーサルデザイン化を検討する。また、大規模改修、統合、新設等の場合は、ユニバーサルデザイン化や脱炭素化等の機能を備えた施設とすることを検討する。

8 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

県民・利用者の安全確保を最重要事項とし、「岩手県公共施設点検マニュアル」に基づく点検を実施し、危険性の有無を適切に把握するとともに、その他

法定点検等により高度の危険性が認められた場合は、速やかに安全確保のための措置を行う。

老朽化等により用途廃止され、かつ今後も利用見込みのない施設は、危険性が生じることがないように適切に処分・除却を進めていく。

9 長寿命化等対策の概算経費等

(1) 計画期間中に必要と見込まれる概算経費

令和7年度から令和11年度（具体の対策が計画されている期間）までの必要対策費の概算は、約16億円※である。

（単位：百万円）

施設分類	施設数	対策費
県民利用施設	10	1,627
計		1,627

財源見込：一般財源

※公共施設カルテ（個票）の「6 今後の方向性（たたき台）」を踏まえ、同カルテ記載の主な維持修繕・改修の内容を調整・精査したものであること。

(2) 今後30年間に必要と見込まれる概算経費

令和7年度から令和36年度までの30年間の必要対策費の概算は、約290億円である。

（単位：百万円）

施設分類	施設数	対策費
県民利用施設	10	28,984
計		28,984

財源見込：一般財源

第2章 所管施設ごとの対応方針

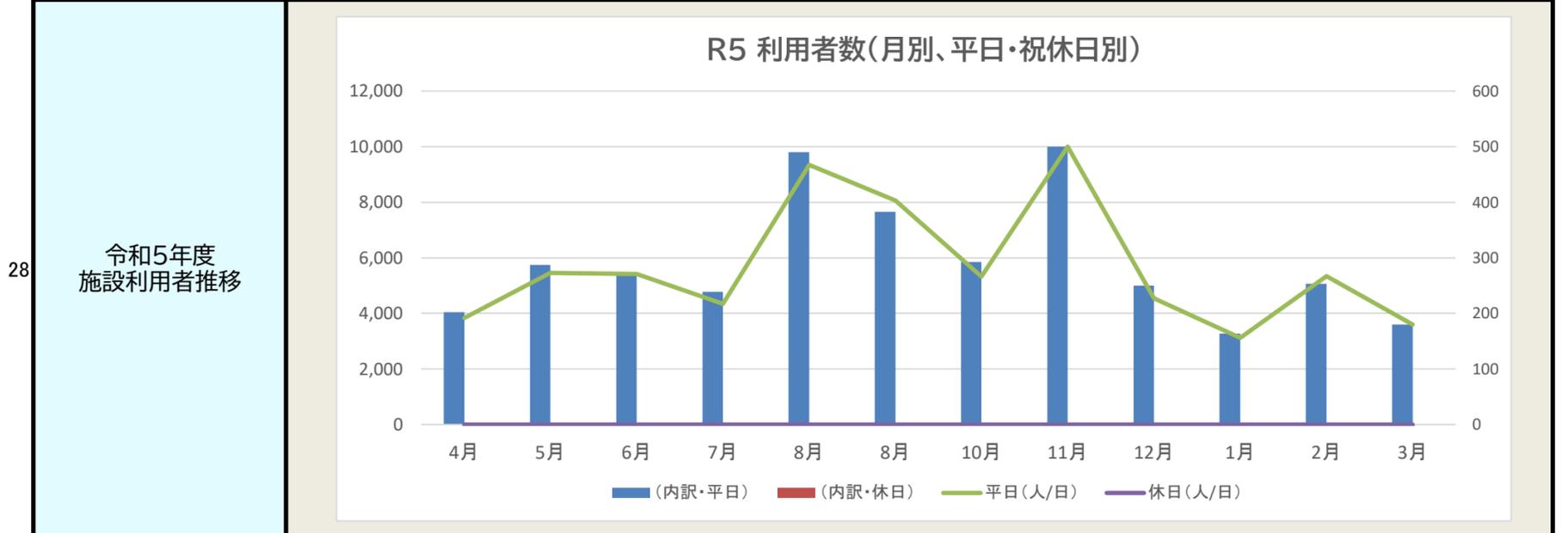
施設ごとの対応方針は、公共施設カルテ（個票）「6 今後の方向性（たたき台）」のとおりである。

なお、令和5年3月31日に閉場した旧岩手県営野球場の対応方針についても、便宜上、この章で示している。

1 施設概要								
1	施設名称	岩手県公会堂		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月	
2	所在地	盛岡市内丸69-1		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産	
3	所管課	文化スポーツ部文化振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当	
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	準防火地域	用途地域	商業地域	
5	敷地面積	3,899.75 m ²		建築面積	1,573.55 m ²	延床面積	3,569.42 m ²	
6	竣工年度 (建築年月)	1927年6月		経過年数 (R7.4.1現在)	97年	施設内棟数	1棟	
7	設置根拠	有	文化財保護法(-)			年間目標 (施設利用率)	大ホール:30% 会議室:60%	
8	設置目的	文化活動等の場を提供することにより、その振興を図る。						
9	施設の概況	<p>昭和2年、昭和天皇(当時:皇太子)御成婚祝賀の記念として、東京・日比谷公会堂と同じ建築家・佐藤功一氏の設計により建築された。県内で初めて採用された蒸気暖房や水洗トイレなどが整備され、完成当時は東北随一の近代的建物としての機能を備えるとともに、県議会議事堂として県政を象徴する建物となった。</p> <p>その後、昭和40年に県議会議事堂が現在地に移転され、昭和48年に県民会館ができるまでの間、県内最大級の文化・集会施設として本県の文化の振興に寄与した。</p> <p>平成12年の外部有識者による懇談会及びパブリック・コメントを経て、県は平成15年に県民にとって高い歴史的・文化的価値を有する建物として全面保存する方針を定め、平成18年10月に国の登録有形文化財に登録された。現在も県民の利用や観光客の見学に供している。</p>						
10	類似施設	公共	有	岩手県民会館		民間	有	岩手銀行赤レンガ館
11	未利用設備	有	塔屋上階(階段)。安全性の観点から、今後も利用を想定していない。		大規模改修	有	H26:エアコンディショナー設置工事	
12	使用許可等の有無	無						
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	文化活動等の場を提供することにより、その振興を図る。					
		②建物が提供する機能	大ホール、会議室等の貸出により、県民の文化活動の拠点となっている。平成18年に国の有形文化財として登録されており、建築文化財として都市景観に資する価値を有する。					
		③設置目的の適合性	発表、練習、会議、コンサートなど県民の文化活動の場として広く利用されている。また、建築文化財として観光振興に資することも期待される。					
		④施策上の必要性	県民に広く利用される施設として維持することにより、県内外に対する県公会堂の文化的価値の発信力が強まり、地域で文化財を保存しようという県民の意識の醸成につながっている。					
		⑤建物の必要性	県の基本方針(平成15年策定)にあるとおり、「県の文化と歴史の殿堂」として県都のシンボルとなる建物であることから、本県の文化振興等の歴史を次世代に伝えるためにも必要な施設である。					
		⑥類似施設への代替可能性	基本方針を踏まえると、登録有形文化財としての県公会堂の価値は他の施設では代替不可能なものである。					
		⑦今後の方向性	施設の保全・長寿命化のため、優先的に調査・修繕・改修が必要な箇所の整理を進める。併せて、保存活用計画の策定と、それに基づく国庫補助の活用も視野に入れて調査・修繕・改修を検討する。					
		⑧利用者推移の分析	新型コロナウイルス感染症の流行前は、10万人以上の利用があった。新型コロナウイルス感染症の影響により一時期(R2~R3)利用件数及び人数は減少したものの、5類移行を受け、徐々に利用者数・利用率が回復してきている。					
		⑨設置目的の達成に向けたKGI	主たる事業が会議室及び大ホール等設備の貸出・利用であることから施設利用者数ではなく施設利用率(利用日数/開館日数)をKGIとして設定している。 【現状値(R5)】 全体:44.5%、大ホール:73.0%(うち一般利用(催事・興行等)13.21%、自主事業(ピアノ利用等)62.36%)、会議室等:44.8%、ギャラリー:10.1% 【目標値(~6)】※現指定管理期間(R2~R6) 大ホール:30%、会議室:60%					
14 15 16 17 18 19 20	主要棟	名称	公会堂			現況写真		
		構造	RC造	種目	事務所建			
		階数	地上	6階	地下			1階
		建築面積	1,573.55m ²		延床面積			3,569.42m ²
		建築年月日	S2.6月		法定耐用年数			50年
		耐震診断	済		耐震改修			済
		その他特記事項						

2 利用状況

21	開館日数	349日			開館時間	9:00~17:30		年間利用者数	70,224人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	4,041	5,739	5,411	4,782	9,807	7,657	5,848	10,002	5,004	3,270	5,065	3,598
24	(内訳・休日)												
25	利用者数内訳・団体	69,628人					利用者数内訳・個人		596人				
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)		
		106,432人	121,507人		54,146人		33,862人		64,034人		▲ 7.6%		
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (S42年10月時点)	924,000人		現在【B】 (R6年4月時点)		1,163,024人		増減率 (マクロデータ)		25.9%		



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	48,278	100.0%	44,138	100.0%	54,829	100.0%
人件費	19,549	40.5%	18,132	41.1%	19,947	36.4%
物件費等	22,025	45.6%	21,854	49.5%	28,589	52.1%
維持修繕費	5,538	11.5%	3,398	7.7%	5,539	10.1%
減価償却費	1,166	2.4%	754	1.7%	754	1.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	48,278	100.0%	44,138	100.0%	54,829	100.0%
経常収益(直接的収入)	11,376	100.0%	14,149	100.0%	20,481	100.0%
使用料・手数料	10,177	89.5%	12,834	90.7%	13,857	67.7%
その他	1,199	10.5%	1,315	9.3%	6,624	32.3%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	11,376	100.0%	14,149	100.0%	20,481	100.0%
年間コスト	▲ 36,902		▲ 29,989		▲ 34,348	

30	年間利用者数	33,862人	64,034人	70,224人
31	延床面積当たりコスト	10,338円/㎡	8,402円/㎡	9,623円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	1,090円/人	468円/人	489円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	31円/人	25円/人	30円/人
34	有形固定資産減価償却率	98.5%	98.7%	98.8%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備				
35 主な建築・設備	屋根仕上:シート防水・塗膜防水	受変電設備:屋外型キュービクル式	冷暖房:冷温水方式(中央式冷暖房)				
	外壁仕上:コンクリート打た、タイル張り	発電:屋内型ディーゼル	給水:高置水槽方式				
	床仕上:コンクリート打た・ビニールタイル	警報:自動火災報知装置、非常放送	排水:公共下水道				
	壁仕上:コンクリート打た・ペイント仕上	電気時計装置・拡声設備	給湯:ガス湯沸器				
	天井仕上:コンクリート下地しっくい		消火:屋内消火栓・泡消火 消火ポンプユニット				
36 劣化度調査	一部箇所に外部からの雨水侵入あり	発錆あり	ラジエーター 一部損傷あり				
		一部感知器が耐用年数に達する					
37 定期点検	定期点検及び毎月の日常点検を実施	定期点検及び毎月の日常点検を実施	定期点検及び毎月の日常点検を実施				
38 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】		非常用電源設備更新(H30)【17】	エアコン設置(H26)【74】				
			空調設備等(H27)【64】				
			消防設備トイレ改修(R6)【5】				
39 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
	国庫					0百万円	
	県債					0百万円	
	一般財源		6百万円		3百万円	5百万円	14百万円
	その他						0百万円
計	0百万円	6百万円	0百万円	3百万円	5百万円	14百万円	

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
40 ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
41 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
42 施設の方向性	文化財保護法に基づく登録有形文化財に指定されていることから、県民の財産として、大ホールの改修を実施し、また、必要な修繕を実施して施設の長寿命化を図っていく。			

7 長寿命化等対策の方向性等

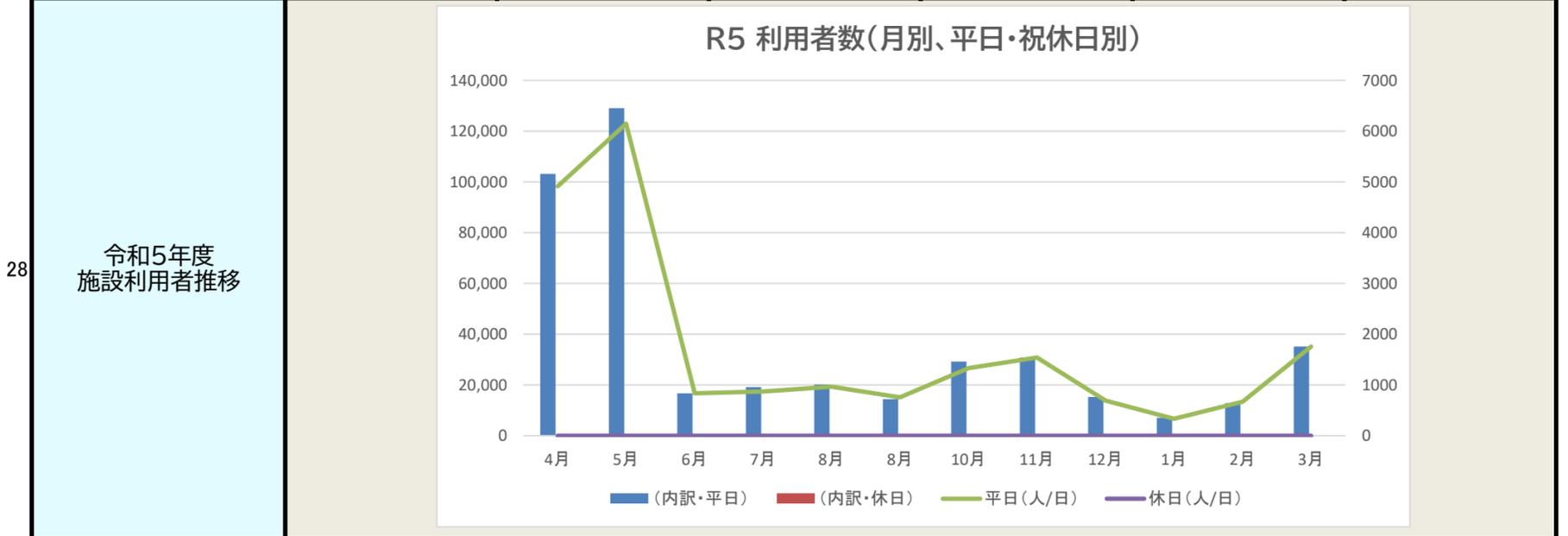
44 長寿命化等対策の方向性	施設の長期的な保全・活用を念頭におきつつ、緊急性の高いものから順次計画的に改修していく。					
45 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	・大ホール構造部材調査 ・公会堂屋上防水塗装工事 等	・消防設備一部更新 ・公会堂屋上防水塗装工事 ・保存活用計画策定支援	・外壁保全調査 ・公会堂屋上防水塗装工事 ・通用口排水工事等 ・大ホール改修工事	・外壁保全修繕 ・大ホール改修工事 ・公会堂照明器具取替(LED化)工事 等	・外壁保全修繕 ・公会堂照明器具取替(LED化)工事 等	
46 概算費用(見込)	20 百万円	16 百万円	84 百万円	838 百万円	66 百万円	1,024 百万円
	国庫					0 百万円
	県債	14 百万円				14 百万円
	一般財源	6 百万円	16 百万円	84 百万円	838 百万円	66 百万円
その他						0 百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要								
1	施設名称	岩手県民会館		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月	
2	所在地	岩手県盛岡市内丸311番2		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産	
3	所管課	文化スポーツ部文化振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当	
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	防火地域	用途地域	商業地域	
5	敷地面積	8,536.83 m ²		建築面積	5,908.56 m ²	延床面積	18,583.71 m ²	
6	竣工年度 (建築年月)	1973年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	52年	施設内棟数	2棟	
7	設置根拠	有 地方自治法(-)				年間目標 (ホール利用率)	R7:66.9% R8:69.9%	
8	設置目的	本県における芸術文化の普及振興を図り、県民生活の向上に寄与することを目的として設置。						
9	施設の概況	<p>岩手県民会館は、芸術文化の普及振興等を図り、県民生活の向上に寄与する目的で昭和48年に設置され、今なお岩手県の芸術文化の中心的役割を果たすものとして広く一般に開放され、音楽、演劇、集会等多目的に使用されている。</p> <p>盛岡市の中心を流れる中津川の河畔に位置し、周囲には岩手山の遠望、周辺には岩山、愛宕山、南昌山等の丘陵が展望される地にあり、これらの景観と環境との調和のとれた建物として建築された。</p> <p>施設としては、大ホール(1,991席)及び中ホール(602席)のほか、9mの吹き抜けを持つ展示室や各種会議室等を有している。</p>						
10	類似施設	公共	有	盛岡市民文化ホール、キャラホール		民間	無	
11	未利用設備	無	大規模改修			有	H29:屋上防水シート及び外壁改修工事	
12	使用許可等の有無	無						
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	芸術文化の普及振興等を図り、県民生活の向上に寄与する。					
		②建物が提供する機能	大ホール(1,991席)及び中ホール(602席)のほか、9mの吹き抜けを持つ展示室や各種会議室等を有している。					
		③設置目的の適合性	本県の芸術文化の中心的役割を果たすものとして広く一般に開放され、音楽、演劇、集会等多目的に使用されている。					
		④施策上の必要性	設置から現在に至るまで、本県の芸術文化の中心的役割を果たしてきており、引続き芸術文化の普及振興等を図るためにも必要な施設である。					
		⑤建物の必要性	盛岡市の中心市街地に位置し、近隣類似施設とは異なる特徴を持つ岩手県民会館は、本県の芸術文化の普及振興等を図るためにも必要な施設である。					
		⑥類似施設への代替可能性	大ホールの席数は県内最多であるほか、9mの吹き抜けを持つ展示室を有するなど、他の県内類似施設とは異なる特徴がある。					
		⑦今後の方向性	平成29年度に現施設を長寿命化するという方向性を決めており、令和3年2月に策定した個別施設計画においては、現施設を維持修繕し長寿命化する計画としている。					
		⑧利用者推移の分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響が最も大きかった令和2年度に比して、令和3年度以降の利用者数は回復傾向にある。また、令和5年度については大型イベントの実施により、4、5月の利用者数が大幅に増加した。					
		⑨設置目的の達成に向けたKGI	指定管理者である(公財)岩手県文化振興事業団は、安定した法人運営・経営状況の下での文化芸術を鑑賞・体験・参加する機会の充実を図るため、中期経営計画の中でホールの利用率を目標値に設定している。 ホール利用率(大ホールと中ホールの利用率平均値) 【R5実績】目標:62.4%、実績:59.2% 【R6以降の目標】R6:64.4%、R7:66.9%、R8:69.9%					
14 15 16 17 18 19 20	主要棟	名称	県民会館			現況写真		
		構造	RC造	種目	事務所建			
		階数	地上	5階	地下			1階
		建築面積	5,891.38 m ²		延床面積			18,566.53 m ²
		建築年月日	1973年3月		法定耐用年数			50年
		耐震診断	済		耐震改修			済
		その他特記事項						

2 利用状況

21	開館日数	339日			開館時間	8時～22時		年間利用者数	432,778人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	103,093	129,074	16,640	19,102	20,196	14,334	29,273	30,862	15,242	7,022	12,779	35,161
24	(内訳・休日)												
25	利用者数内訳・団体	432,778人					利用者数内訳・個人	-					
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)			
		252,411人	277,852人		102,649人		169,739人	266,488人		102.4%			
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (S42年10月時点)	1,385,563人		現在【B】 (R6年4月時点)	1,150,784人		増減率 (マクロデータ)		▲ 16.9%			



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	450,267	100.0%	514,579	100.0%	466,801	100.0%
人件費	102,526	22.8%	100,756	19.6%	87,381	18.7%
物件費等	264,317	58.7%	271,157	52.7%	262,880	56.3%
維持修繕費	17,177	3.8%	76,419	14.9%	50,307	10.8%
減価償却費	66,247	14.7%	66,247	12.9%	66,233	14.2%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	450,267	100.0%	514,579	100.0%	466,801	100.0%
経常収益(直接的収入)	151,591	100.0%	161,786	100.0%	132,142	100.0%
使用料・手数料	82,381	54.3%	102,024	63.1%	116,249	88.0%
その他	69,210	45.7%	59,762	36.9%	15,893	12.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	151,591	100.0%	161,786	100.0%	132,142	100.0%
年間コスト	▲ 298,676		▲ 352,793		▲ 334,659	

30	年間利用者数	169,739人	266,488人	432,778人
31	延床面積当たりコスト	16,072円/㎡	18,984円/㎡	18,008円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	1,760円/人	1,324円/人	773円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	250円/人	299円/人	288円/人
34	有形固定資産減価償却率	87.3%	89.3%	91.3%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建築		② 電気設備		③ 機械設備		
35	主な建築・設備	屋根仕上:シート防水		受変電設備:屋内型キュービクル式		冷暖房:冷温水方式(中央式冷暖房)		
		外壁仕上:コンクリート打法、タイル張り		発電:屋内型ディーゼル		給水:高置水槽方式		
		床仕上:コンクリート打法、カーペット張		警報:自動火災報知装置、非常放送		排水:公共下水道		
		壁仕上:コンクリート打法		構内交換:電子交換機		給湯:ガス湯沸器		
		天井仕上:石こうボード		電気時計装置・拡声設備		消火:屋内消火栓・泡消火		
				映像・音響装置		消火ポンプユニット		
36	劣化度調査	玄関・搬入口タイルにひび割れ、浮き等		変圧器から異音				
		ガラス扉の鏡に破損		発電設備に腐食や動作不良				
		昇降機の地下ピットに漏水						
37	定期点検	定期点検及び毎月の日常点検を実施		定期点検及び毎月の日常点検を実施		定期点検及び毎月の日常点検を実施		
38	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	屋上防水シート及び外壁改修工事(R1)【232】		避難誘導等ほか更新工事(H31)【25】		中ホール照明操作卓更新工事(H31)【35】		
		南側玄関庇修繕工事(R3)【10】		受電室空調機更新工事(R2)【7】		大・中ホールITV設備更新工事(R4)【83】		
		昇降機設備改修工事(R5)【42】		自動火災報知設備更新工事(R6)【77】				
39	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
		国庫		3百万円				3百万円
		県債		1百万円	79百万円	40百万円	60百万円	180百万円
		一般財源	18百万円	20百万円	6百万円	3百万円	21百万円	68百万円
		その他					5百万円	5百万円
計	18百万円	24百万円	85百万円	43百万円	86百万円	256百万円		

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
40	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持		施策上の必要性		高	
41	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)		代替の可能性		低	

6 今後の方向性(たたき台)

施設の方向性		機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
42	施設の方向性	文化会館は県内に多数あるものの、大ホールの規模としては県民会館が一番収容人数が多く、中ホール・展示室・会議室等の機能もあり、利用状況も順調であることを勘案すれば、長寿命化改修を行い機能維持することが望ましい。			
43					

7 長寿命化等対策の方向性等

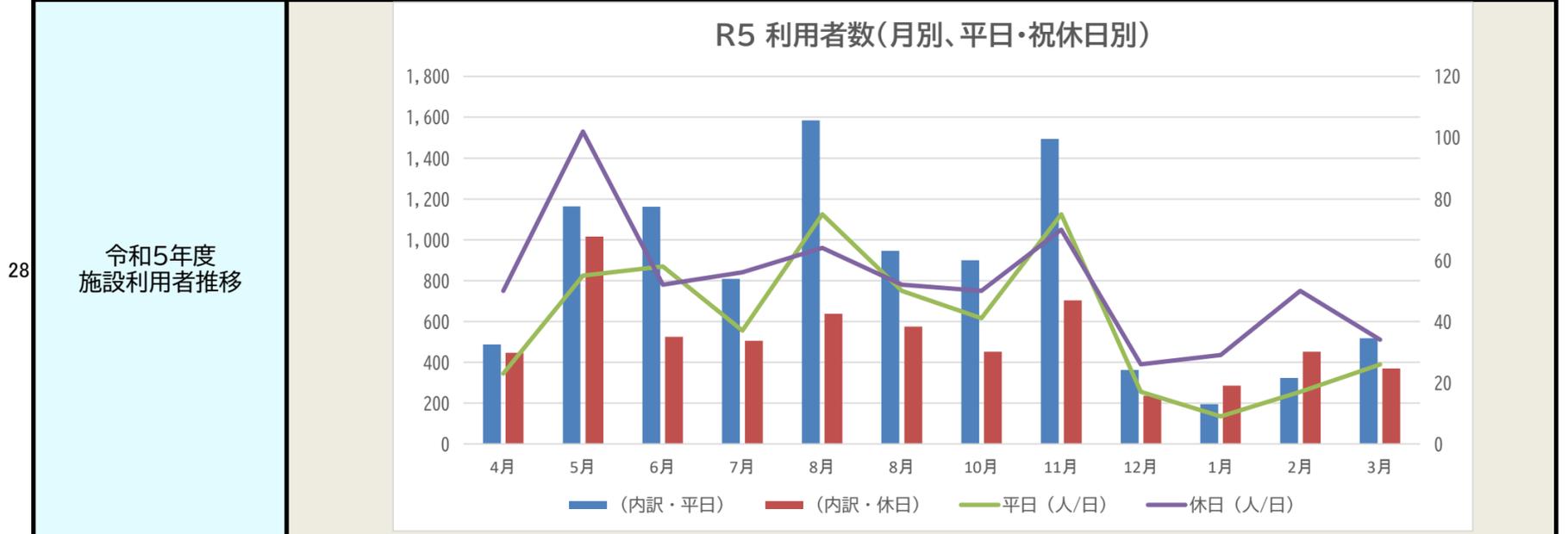
44	長寿命化等対策の方向性	計画的な大規模改修等により長寿命化を図り、現施設での行政サービスを維持する。						
45	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計	
		・電力制御中央監視装置更新工事 ・ボイラー改修及び空調熱源更新工事等	・大ホール電動吊物装置更新工事 ・ボイラー改修及び空調熱源更新工事等 ・大ホール等天井耐震改修工事	・ボイラー改修及び空調熱源更新工事 ・大ホール等天井耐震改修工事 ・中ホール電動吊物装置更新工事 ・大中ホール舞台照明設備更新	・大ホール等天井耐震改修工事 ・大ホール照明負荷設備改修工事 ・中ホール電動吊物装置更新工事 ・大中ホール舞台照明設備更新	・大ホール等天井耐震改修工事 ・ホール椅子改修等		
46	概算費用(見込)	262 百万円	404 百万円	1,408 百万円	1,055 百万円	550 百万円	3,679 百万円	
		国庫						0 百万円
		県債	5 百万円	134 百万円				139 百万円
		一般財源	257 百万円	270 百万円	1,408 百万円	1,055 百万円	550 百万円	3,540 百万円
	その他						0 百万円	

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要								
1	施設名称	岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター		策定年月	令和3年4月	最終更新	令和7年12月	
2	所在地	岩手県西磐井郡平泉町伽羅楽108-1		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産	
3	所管課	文化スポーツ部文化振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当	
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域	
5	敷地面積	8,137.19 m ²		建築面積	2,681.76 m ²	延床面積	2,424.74 m ²	
6	竣工年度 (建築年月)	2021年4月		経過年数 (R7.4.1現在)	4年	施設内棟数	1棟	
7	設置根拠	無				年間目標利用者数	30,000人	
8	設置目的	県民をはじめ広く国内外の人々の世界遺産「平泉」その他の平泉の文化遺産に対する理解を深めることにより、これを将来の世代に継承するとともに、文化の発展に寄与する。						
9	施設の概況	<p>「平泉の文化遺産」の世界遺産としての理念や価値及び学術情報を、総合的に国内外に情報発信するとともに、柳之御所遺跡の2,000点を超える国重要文化財やカエル板絵等の貴重な出土品を、現地で展示・収蔵するため、令和3年11月20日(土)に開館した。</p> <p>常設展示室は、約440m²で、展示資料点数301点(パネル・映像等を含む、うち重要文化財157点)施設の奥には、企画展示室:約110m²を備えている。</p> <p>建物は、鉄筋コンクリート造の地上2階建(耐火構造施設、収蔵庫が2階建)で、駐車可能台数は、普通車47台(うち障がい者用2台)、大型車2台となっている。</p>						
10	類似施設	公共	有	平泉文化遺産センター	民間	無		
11	未利用設備	無		大規模改修	無			
12	使用許可等の有無	無						
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	県民をはじめ広く国内外の人々の世界遺産「平泉」その他の平泉の文化遺産に対する理解を深めることにより、これを将来の世代に継承するとともに、文化の発展に寄与する。					
②建物が提供する機能		<p>【ガイダンス機能】多様な特性・ニーズを持つ幅広い来訪者を迎え入れ、世界遺産を含む「平泉の文化遺産」へ誘う。</p> <p>【展示・情報発信機能】世界遺産を含む「平泉の文化遺産」の価値を分かりやすく伝え、調査研究成果等の学術的な情報公開を行う。</p> <p>【体験・学習機能】来訪者が主体的に学び活動する契機となる体験の場を提供するとともに、学校等と連携した学習プログラムを開発し、次世代の人材を育成する。</p> <p>【調査研究・情報集積機能】柳之御所遺跡をはじめとする「平泉の文化遺産」の発掘調査や、関連機関と連携した多角的な共同研究等を行い、学術情報を集積する。</p> <p>【収蔵・保存管理機能】柳之御所遺跡をはじめとする「平泉の文化遺産」に関わる資料を、最適な環境で収蔵・管理し、後世に大切に伝える。</p> <p>【管理運営・プロデュース機能】隣接する柳之御所史跡公園の維持管理を行うとともに、「平泉の文化遺産」の保護・活用に関する来訪者の利便を図り、円滑な施設運営を行う。</p>						
③設置目的の適合性		設置目的を達成するため、上記6つの機能を提供している。						
④施策上の必要性		世界文化遺産としての「平泉」を総合的に分かりやすく紹介する中核的施設として、また「平泉」の価値を構成する資産の調査研究及び保存管理・活用を担っていく施設として必要である。						
⑤建物の必要性		②に記載の【収蔵・保存管理機能】や【管理運営・プロデュース機能】を達成するため、建物が必要である。						
⑥類似施設への代替可能性		本施設は既存施設及び将来の整備や誘致が検討されている諸施設(平泉文化研究機関、国立博物館、他遺跡ガイダンス施設等)を視野に入れつつ、「平泉の文化遺産」に関する「センター施設」と位置付け、既存の関連施設等とそれぞれの特性に応じた役割のあり方を協議しながら、連携を図っていくこととする。						
⑦今後の方向性		文化遺産めぐりに必要な情報を提供し、快適な旅になるようサポートすることにより、来訪者は現地で資産とじっくり向き合い、より一層その価値を感じることができると考えられる。そこで本施設では、「平泉の文化遺産」めぐりの出発点として、平泉に到着した来訪者を迎え入れ、そして各資産へと送り出すガイダンス事業を展開することとしている。						
⑧利用者推移の分析		R5年度の施設利用者のうち一般が12,456人(77.2%)となっており、個人が12,797人(79.3%)となっている。						
⑨設置目的の達成に向けたKGI		施設利用者数をKGIとして設定。 【現状値(R5)】 16,147人 【目標値(R9)】 30,000人(現状値より+14,000人)						
14	主要棟	名称	平泉世界遺産ガイダンスセンター			現況写真		
15		構造	RC造	種目	事務所建			
16		階数	地上	地上2階建て	地下			
17		建築面積	2681m ²		延床面積			2,424m ²
18		建築年月日	2021年4月		法定耐用年数			50年
19		耐震診断	不要		耐震改修			不要
20		その他特記事項						

2 利用状況

21	開館日数	347日			開館時間	9:00~17:00		年間利用者数	16,147人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	935	2,180	1,685	1,315	2,223	1,521	1,352	2,197	598	479	775	887
24	(内訳・休日)	488	1,164	1,161	809	1,585	946	900	1,493	363	194	323	518
25	利用者数内訳・団体	3,350人					利用者数内訳・個人		12,797人				
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率 (R5/過去5年平均)						
					6,657人	25,347人	0.9%						
27	施設利用対象者 マクロデータ ※観光入込客数(奥州市、 平泉町、一関市)	開設当時【A】 (R3年11月時点)	3,215,526人	現在【B】 (R6年4月時点)	3,735,095人	増減率 (マクロデータ)		16.2%					



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
経常費用	180,709	100.0%	115,470	100.0%	103,013	100.0%
人件費	4,862	2.7%	11,140	9.6%	42,276	41.0%
物件費等	173,772	96.2%	76,095	65.9%	33,811	32.8%
維持修繕費	2,075	1.1%	2,723	2.4%	1,414	1.4%
減価償却費		0.0%	25,512	22.1%	25,512	24.8%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	180,709	100.0%	115,470	100.0%	103,013	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	0.0%	0	-	3,294	100.0%
使用料・手数料		0.0%		-	3,294	100.0%
その他		0.0%		-		0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	-	0	0.0%
資産売却益		0.0%		-		0.0%
その他		0.0%		-		0.0%
補助金等(間接的収入)	131,933	100.0%	0	-	0	0.0%
国庫補助金	131,933	100.0%		-		0.0%
その他		0.0%		-		0.0%
収入合計	131,933	100.0%	0	-	3,294	100.0%
年間コスト	▲ 48,776		▲ 115,470		▲ 99,719	

30	年間利用者数	6,657人	25,347人	16,147人
31	延床面積当たりコスト	20,116円/㎡	47,622円/㎡	41,126円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	7,327円/人	4,556円/人	6,176円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	41円/人	98円/人	86円/人
34	有形固定資産減価償却率	0.0%	2.0%	4.0%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建築		② 電気設備		③ 機械設備	
35	主な建築・設備			受変電:屋内型キュービクル式		冷暖房:オール電化	
				発電:無し		給水:高置水槽方式	
				警報:自動火災報知装置、非常ベル		排水:公共下水道	
				構内交換:電子交換機		給湯:温水発生器	
				拡声設備		消火:屋内消火栓・ガス消火	
				映像・音響装置		消火ポンプユニット	
36	劣化度調査	異常なし		異常なし		異常なし	
37	定期点検	異常なし		異常なし		異常なし	
38	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	無し		無し		無し	
39	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源						0百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
40	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)		施策上の必要性		高	
41	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)		代替の可能性		低	

6 今後の方向性(たたき台)

		機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
42	施設の方向性	開設されて間もない施設であることから現状維持とする。 ただし、経費効率の改善に向けて増収が図られるよう、利用者数増加に向けた取組が必要である。			
43					

7 長寿命化等対策の方向性等

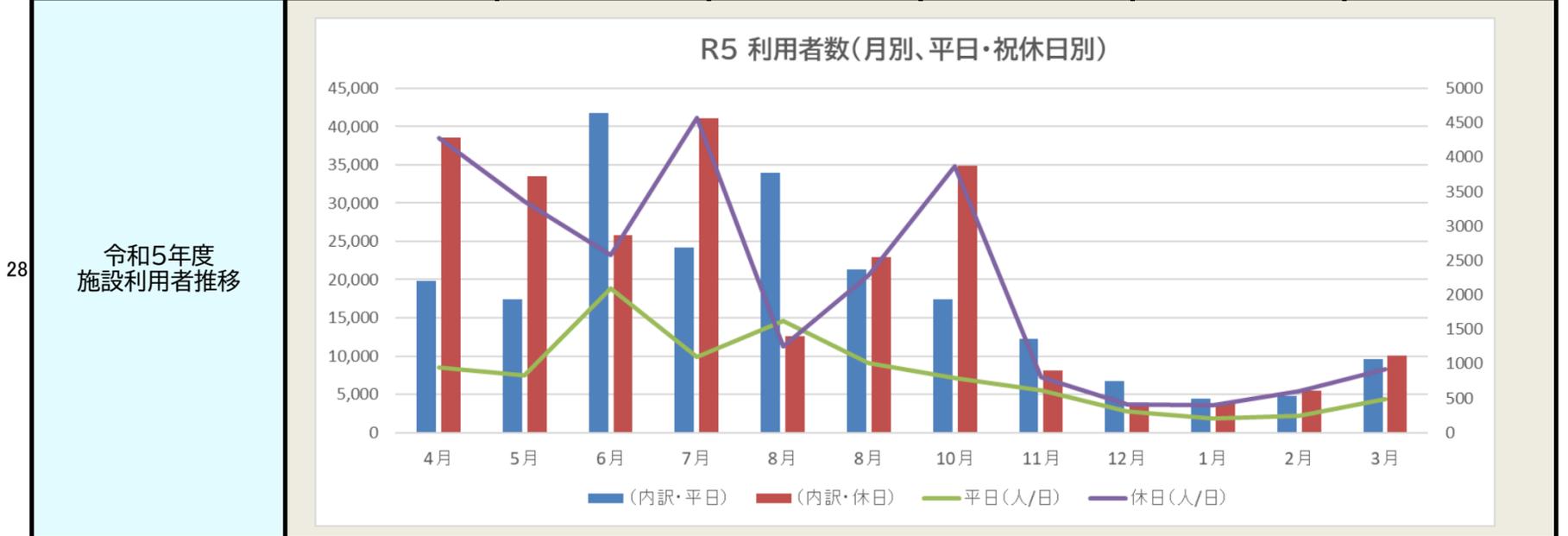
44	長寿命化等対策の方向性	開設されて間もない施設であることから、当面、大規模施設設備等の修繕は必要が無いもの。					
45	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		空調・映像設備の 部品交換修繕	空調・映像設備の 部品交換修繕	空調・映像設備の 部品交換修繕	空調・映像設備の 部品交換修繕	空調・映像設備の 部品交換修繕	
46	概算費用(見込)	2百万円	2百万円	2百万円	2百万円	2百万円	10百万円
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	2百万円	2百万円	2百万円	2百万円	2百万円	10百万円
	その他						0百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要							
1	施設名称	岩手県営運動公園		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	盛岡市みたけ一丁目109番ほか		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	文化スポーツ部スポーツ振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
5	敷地面積	245,909.34 m ²		建築面積	5,294.75 m ²	延床面積	6,012.99 m ²
6	竣工年度 (建築年月)	1966年6月		経過年数 (R7.4.1現在)	58年	施設内棟数	24棟
7	設置根拠	有 都市公園法				年間目標利用者数	455,000人
8	設置目的	広く県民に運動機会を提供し、生涯スポーツを推進するとともに、体育、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として、指導者の養成及び活用促進を図るため設置している。					
9	施設の概況	野球場や陸上競技場、補助競技場、サッカー・ラグビー場などの施設があり、岩手県のスポーツ施設の中核を担っている。 同陸上競技場は、昭和45年開催の第25回国民体育大会(みちのく国体)の会場とするため、昭和41年6月に造られた。その後、平成11年にサッカー場がインターハイの会場として改修されたほか、国民体育大会の山岳競技の競技種目の変更を契機に、平成19年にボルダリングルーム(現在の第2ボルダリング競技場)が整備されるなどした。 施設としては、陸上競技場(第2種陸上競技場、400m×8コース)、補助競技場(300m×7コース)、テニスコート(オムニコート8面)、サッカー・ラグビー場第1グラウンド(160m×90m)、サッカー・ラグビー場第2グラウンド(160m×90m)、野球場(1面)、ヘルスコース(外周2km)、スポーツクライミング競技場(リード競技場、ボルダリング競技場、スピード競技場)、日本庭園、児童遊園、交通公園等がある。普通車578台分の駐車場を整備している。					
10	類似施設	公共	有	北上陸上競技場	民間	無	
11	未利用設備	無		大規模改修	有	H10:陸上競技場メインスタンド改修	
12	使用許可等の有無	無					
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	広く県民に運動機会を提供し、生涯スポーツを推進するとともに、体育、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として、指導者の養成及び活用促進を図るため設置している。				
②建物が提供する機能		陸上競技場、補助競技場、サッカー・ラグビー場、スポーツクライミング競技場などの施設があり、本県のスポーツ施設の中核を担っている。					
③設置目的の適合性		本施設には、引き続き、広く県民に運動機会を提供し、生涯スポーツを推進するとともに、体育、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として、指導者の養成及び活用促進を図る意義があると考えられる。					
④施策上の必要性		県営運動公園については、陸上競技場、サッカー・ラグビー場、スポーツクライミング競技場など全国規模や東北規模の大会を開催できる競技場については、長期的に県営の施設として維持していくことが必要である。					
⑤建物の必要性		競技スポーツにおいては、各種基準に適合した施設が必要である。					
⑥類似施設への代替可能性		野球場など同程度の機能を備えた施設が県内にあることから、運動公園全体のレイアウトを考慮しながら、機能性や利便性を一層向上させるため、他の用途を検討することが必要である。					
⑦今後の方向性		令和6年9月に取りまとめた、「県営スポーツ施設のあり方に関する報告書」を踏まえ、全国規模の競技会・大会を開催できる競技場については、長期的に県営の施設として維持していくとともに、老朽化対策や機能性向上に向けた改修を行う。 野球場については、同程度の機能を備えた施設が県内にあることから、その用途を廃止し、運動公園としての機能性や利便性を高めるため、他の用途を検討する。					
⑧利用者推移の分析		コロナ禍においては、利用者数は減少した。 スポーツ施設の一般的な課題として、平日(日中)の利用者の確保が挙げられる。					
⑨設置目的の達成に向けたKGI		生涯スポーツの推進という観点から施設利用者数をKGIとして設定。 【現状値(R5)】454,178人【目標値(R11)】455,000人(現状維持)					
14	主要棟	名称	陸上競技場			現況写真	
15		構造	RC造	種目	事務所建		
16		階数	地上	4階	地下		
17		建築面積	1,623.30 m ²	延床面積	2,703.28 m ²		
18		建築年月日	1965年12月	法定耐用年数	50年		
19		耐震診断	済	耐震改修	済		
20		その他特記事項	1998年陸上競技場メインスタンド耐震改修等工事				

2 利用状況

21	開館日数	365日			開館時間	6:00~21:00		年間利用者数	454,178人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	58,409	50,962	67,627	65,223	46,520	44,218	52,257	20,294	10,445	8,314	10,195	19,714
24	(内訳・休日)	19,875	17,413	41,779	24,151	33,978	21,341	17,440	12,196	6,721	4,402	4,739	9,616
25	利用者数内訳・団体	298,011人					利用者数内訳・個人		156,167人				
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)		
		645,325人	527,404人		361,761人		373,681人		523,303人		▲ 6.6%		
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (S41年10月時点)	1,396,021人		現在【B】 (R6年4月時点)		1,150,784人		増減率 (マクロデータ)		▲ 17.6%		



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	147,760	100.0%	166,634	100.0%	148,931	100.0%
人件費	18,892	12.8%	24,240	14.5%	42,838	28.8%
物件費等	89,064	60.3%	94,204	56.5%	64,673	43.4%
維持修繕費	9,611	6.5%	17,997	10.8%	10,750	7.2%
減価償却費	30,193	20.4%	30,193	18.1%	30,670	20.6%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	147,760	100.0%	166,634	100.0%	148,931	100.0%
経常収益(直接的収入)	17,580	87.5%	20,145	66.2%	23,256	75.6%
使用料・手数料	17,136	85.3%	19,670	64.6%	22,866	74.4%
その他	444	2.2%	475	1.6%	390	1.3%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	2,518	12.5%	10,303	33.8%	7,489	24.4%
国庫補助金	2,518	12.5%	10,303	33.8%	7,489	24.4%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	20,098	100.0%	30,448	100.0%	30,745	100.0%
年間コスト	▲ 127,662		▲ 136,186		▲ 118,186	

30	年間利用者数	373,681人	523,303人	454,178人
31	延床面積当たりコスト	21,231円/㎡	22,649円/㎡	19,655円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	342円/人	260円/人	260円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	107円/人	115円/人	102円/人
34	有形固定資産減価償却率	70.5%	71.6%	73.0%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

35	番号:建物名称		1 : 陸上競技場				2 : 管理事務所				3 : バックスタンド			
36	構造 / 種目		RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		雑屋建	
37	階数		地上	4階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階
38	建築面積		1,623.30 m ²				457.35 m ²				1,383.94 m ²			
39	延床面積		2,703.28 m ²				509.40 m ²				1,431.94 m ²			
40	建築年月		1965年12月		耐用年数	50年	1970年3月		耐用年数	50年	1965年12月		耐用年数	38年
41	耐震診断 / 耐震改修		済		済		済		済		済		済	
42	その他特記事項													
43	主な建築・設備	建築	屋根仕上:金属				屋根仕上:金属				屋根仕上:シート防水			
			外壁仕上:コンクリート打放				外壁仕上:コンクリート打放				外壁仕上:コンクリート打放			
			床仕上:コンクリート直均し等				床仕上:モルタル直均し等				床仕上:コンクリート直均し等			
			壁仕上:コンクリート打放				壁仕上:塗装類				壁仕上:コンクリート打放			
	電気設備	受変電:屋内型キュービクル式				電灯設備(蛍光灯):一般形				電灯設備(蛍光灯):一般形				
		発電:原動機ディーゼル				電灯設備(誘導灯):一般形								
		警報:自動火災報知設備				警報:自動火災報知設備								
		構内交換:電子交換機				構内交換:電子交換機								
	機械設備	給水:公共水道				冷暖房:局所暖房・冷房方式				給水:水道直結方式(公共水道・井戸)				
		排水:公共下水道				給水:水道直結方式(公共水道・井戸)				排水:公共下水道				
		給湯:中央式温水発生機 等				排水:公共下水道								
		消火:屋内消火栓、粉末消火				消火:粉末消火								
44	劣化度調査	建築	ひび割れあり								ひび割れあり			
			雨漏りあり											
		電気設備	分電盤:錆あり											
	機械設備						オイルタンク:錆あり							
45	定期点検	建築	ひび割れ、雨漏りあり(R5)				オイルタンク錆あり(R5)				ひび割れあり(R5)			
		電気設備												
		機械設備												
46	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	フィールド等改修工事(H28)【50】											
			陸上競技場改修工事(第二種公認)(R1)【136】											
			陸上競技場改修工事(第二種公認)(R6)【75】											
		電気設備	非常用発電設備更新(H28)【7】											
			自動火災報知設備更新工事(R4)【4】											
		機械設備	給水設備等改修工事(H17)【48】											
県営運動公園井水水中ポンプ更新工事(R6)【3】														

4 施設内建物の概要

47	番号:建物名称	4 : クラブハウス				5 : 更衣室(サッカー・ラグビー場)				6 : ボルダリングルーム					
48	構造 / 種目	S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建			
49	階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階		
50	建築面積	219.39 m ²				184.00 m ²				910.73 m ²					
51	延床面積	335.53 m ²				340.00 m ²				895.55 m ²					
52	建築年月	1986年10月	耐用年数	31年	1996年3月	耐用年数	31年	2020年3月	耐用年数	31年	2020年3月	耐用年数	31年		
53	耐震診断 / 耐震改修	不要		不要		不要		不要		不要		不要			
54	その他特記事項														
55	主な建築・設備	建築	屋根仕上:金属				屋根仕上:金属				屋根仕上:金属				
			外壁仕上:モルタル塗				外壁仕上:ALC板				外壁仕上:コンクリート打放				
			床仕上:ビニル床タイル類				床仕上:ビニル床タイル類				床仕上:コンクリート直均し等				
			壁仕上:壁紙				壁仕上:石こうボード				壁仕上:塗装類				
		電気設備	電灯設備(蛍光灯):一般形				電灯設備(蛍光灯):一般形				電灯設備(蛍光灯):省エネ型				
			電灯設備(誘導灯):一般形								警報:非常ベル				
											誘導支援装置(トイレ呼び出し装置等)				
		機械設備									監視カメラ設備				
			給水:水道直結方式(公共水道)				給水:水道直結方式(公共水道)				給水:加圧送水方式(公共水道)				
			排水:公共下水道				排水:公共下水道				排水:公共下水道				
			給湯設備:局所式ガス湯沸器				給湯設備:真空式温水発生器				ガス設備:都市ガス				
		ガス設備:液化天然ガス				ガス設備:液化天然ガス									
56	劣化度調査	建築					ひび割れあり				ひび割れあり				
		電気設備													
57	定期点検	機械設備													
			建築					ひび割れあり(R5)				ひび割れあり(R5)			
58	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備					更衣室等改修(H7)【104】								
		建築													

4 施設内建物の概要

59	番号:建物名称	7 : 管理事務所(交通公園)														
60	構造 / 種目	RC造		事務所建												
61	階数	地上	2階	地下	0階	地上		地下		地上		地下				
62	建築面積	181.17 m ²														
63	延床面積	357.97 m ²														
64	建築年月	1973年3月		耐用年数	50年			耐用年数				耐用年数				
65	耐震診断 / 耐震改修	済		済												
66	その他特記事項															
67	主な建築・設備	建築	屋根仕上:シート防水													
			外壁仕上:モルタル塗													
			床仕上:ビニル床タイル類													
			壁仕上:壁紙													
		電気設備	電灯設備(蛍光灯):一般形													
			電灯設備(誘導灯):一般形													
		機械設備	給水:水道直結方式(公共水道)													
			排水:公共下水道													
			給湯設備:局所式ガス湯沸器													
			ガス設備:液化天然ガス													
		68	劣化度調査	建築	ひび割れあり											
					雨漏りあり											
電気設備																
機械設備																
69	定期点検	建築	ひび割れ、雨漏りあり(R5)													
		電気設備														
		機械設備														
70	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築														
		電気設備														
		機械設備														
71	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計									
		国庫						0百万円								
		県債		1百万円	1百万円	10百万円	53百万円	65百万円								
		一般財源	5百万円	56百万円	26百万円	3百万円	39百万円	129百万円								
		その他						0百万円								
		計	5百万円	57百万円	27百万円	13百万円	92百万円	194百万円								

5 施設評価

72	1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
73	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
74	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

75	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		<p>県営運動公園には、県規模以上の大会、競技会等で利用されている高規格な施設が多く、他の施設との代替可能性は低い。また、都市公園として、市町村等への機能移管は困難であり、当面は長寿命化改修を行いつつ「現状維持」とする。</p> <p>一方、公園内にある野球場など代替可能な施設については、機能性や利便性を向上させるために他の用途を検討することが望ましい。</p> <p>【県営スポーツ施設のあり方に関する報告書】 → 長期的に維持もしくは現状維持。野球場など県営施設として維持していく必要性が高くない施設については他の用途を検討。</p>			

7 長寿命化等対策の方向性等

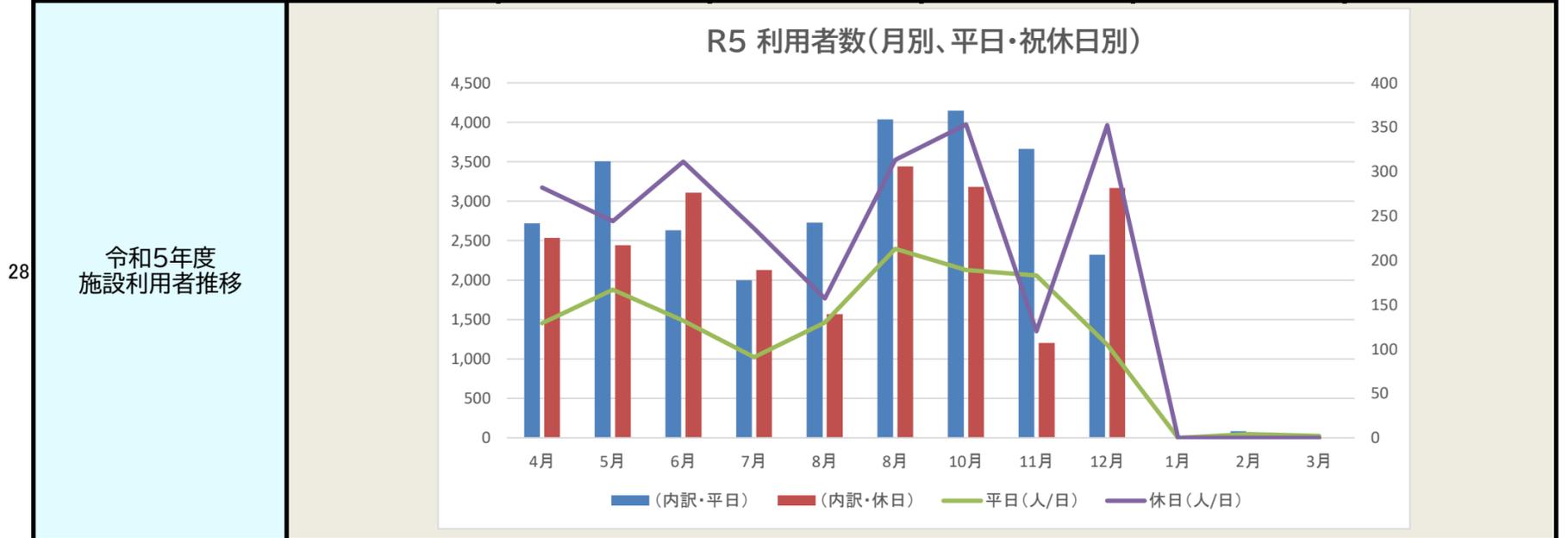
76	長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
77	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場スタンド劣化調査 サッカーゴール購入 ラグビー防護用マット購入 	<ul style="list-style-type: none"> リード競技場パネル交換 時計台撤去及びスピーカー新設工事 引込高圧ケーブル更新工事 陸上競技場備品購入 西門周辺塗装打変工事 ナラ枯れ被害木等駆除業務 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技メインスタンド改修工事 噴水ポンプ改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場バックスタンド改修工事 南北ゲート設置工事 テニスコート備品購入 LEDリース使用料 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場第2種公認更新工事 交通公園エアコン設置 交通公園SL車庫解体工事 第三ボルダリング場パネル改修工事 LEDリース使用料 	
78	概算費用(見込)	5百万円	70百万円	26百万円	34百万円	89百万円	224百万円
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	5百万円	70百万円	26百万円	34百万円	89百万円	224百万円
	その他						0百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要								
1	施設名称	岩手県営体育館		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月	
2	所在地	盛岡市青山二丁目4-1		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産	
3	所管課	文化スポーツ部スポーツ振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当	
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	商業地域	
5	敷地面積	13,309.19 m ²		建築面積	4,170.28 m ²	延床面積	6,343.37 m ²	
6	竣工年度 (建築年月)	1967年7月		経過年数 (R7.4.1現在)	57年	施設内棟数	1棟	
7	設置根拠	有	社会教育法(努力義務)、スポーツ基本法(努力義務)、地方自治法(-)			年間目標利用者数	51,000人	
8	設置目的	広く県民に運動の機会を提供し、生涯スポーツを推進するとともに、体育、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として、指導者の養成及び活用促進を図るため、設置している。						
9	施設の概況	<p>いわて国体を目前にした昭和44年に整備された流線型・楕円形型の屋根がシンボルの建物で、これまで中学・高校の総合体育大会、県民体育会をはじめ東北大会、全国大会やプロレスなどのイベント会場として数多くの利用があり、特に体操競技においては男子6種目、女子4種目を一体実施できる県内唯一の体育館であるとともに、県内に現存する最も歴史のある体育館である。</p> <p>また、IGRいわて銀河鉄道の青山駅から近く、商店街、盛岡市の児童公園、小中学校等に隣接し、幅広い利用層がある立地となっている。</p> <p>施設としては、収容人員(固定席)1,625席、競技機能は、バスケットボールコート2面、バレーボールコート2面、バトミントンコート10面、ハンドボールコート1面、テニスコート2面、卓球24面、体操(男子6種目・女子4種目)等、会議室、応接室、多目的室、選手控室、ロッカー室、シャワー浴室等がある。</p> <p>普通車173台及びバス6台分の駐車場を整備している。</p>						
10	類似施設	公共	有	盛岡市総合アリーナ、奥州市総合体育館、岩手県勤労身体障がい者体育館	民間	無		
11	未利用設備	無		大規模改修	有	S55:メインアーチ風化防止等全面補修		
12	使用許可等の有無	無						
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	<p>①施設の設置目的 ○ 体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達を図るため設置している。</p> <p>②建物が提供する機能 ○ 県民体育大会をはじめ東北大会、全国大会や、プロレスなどのイベント会場として数多くの利用があり、特に体操競技においては男子6種目、女子4種目を一体実施できる県内唯一の体育館である。</p> <p>③設置目的の適合性 ○ 本施設には、引き続き、体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与する意義があると考えられる。</p> <p>④施策上の必要性 ○ 県営体育館については、市町村営施設が複数あり、担う役割や今後の市町村施設の改修状況等を踏まえた検討が必要である。</p> <p>⑤建物の必要性 ○ 競技スポーツにおいては、各種基準に適合した施設が必要である。</p> <p>⑥類似施設への代替可能性 ○ 長期的に維持する場合は、同等の機能を有する県勤労身体障がい者体育館と集約し、高機能の体育館整備について検討する必要がある。 ○ 施設の集約化を図る場合は、スポーツ活動を通じた交流拠点としての機能も検討する必要がある。</p> <p>⑦今後の方向性 ○ 令和6年9月に取りまとめた、「県営スポーツ施設のあり方に関する報告書」を踏まえ、老朽化した施設の整理・統合等を進めていく。 ○ 県営体育館は、バリアフリーや空調等の機能性が不十分であることから、ユニバーサルデザイン化や脱炭素化等の機能を備えた体育館整備について検討していく。</p> <p>⑧利用者推移の分析 ○ コロナ禍においては、利用者数は減少した。 ○ スポーツ施設の一般的な課題として、平日(日中)の利用者の確保が挙げられる。</p> <p>⑨設置目的の達成に向けたKGI ○ 生涯スポーツの推進という観点から施設利用者数をKGIとして設定。 【現状値(R5)】 50,651人 【目標値(R11)】 51,000人(現状維持)</p>						
14	主要棟	名称	体育館			現況写真		
15		構造	RC造	種目	事務所建			
16		階数	地上	2階	地下			
17		建築面積	4,170.28 m ²		延床面積			6,343.37 m ²
18		建築年月日	1967年7月		法定耐用年数			50年
19		耐震診断	済		耐震改修			済
20		その他特記事項	1999年耐震改修等工事					

2 利用状況

21	開館日数	245日			開館時間	8:00～21:00		年間利用者数	50,651人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	5,255	5,945	5,740	4,127	4,295	7,478	7,327	4,867	5,489	0	85	43
24	(内訳・休日)	2,719	3,503	2,633	1,999	2,729	4,038	4,147	3,663	2,320	0	85	43
25	利用者数内訳・団体	50,525人					利用者数内訳・個人	126人					
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率 (R5/過去5年平均)						
		81,673人	62,024人	39,985人	41,241人	57,909人	▲10.5%						
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (S42年10月時点)	1,391,672人	現在【B】 (R6年4月時点)	1,150,784人	増減率 (マクロデータ)	▲17.3%						



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
経常費用	46,954	100.0%	60,564	100.0%	113,915	100.0%
人件費	18,777	40.0%	21,517	35.5%	19,694	17.3%
物件費等	24,540	52.3%	27,532	45.5%	22,127	19.4%
維持修繕費	3,626	7.7%	11,504	19.0%	72,083	63.3%
減価償却費	11	0.0%	11	0.0%	11	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	46,954	100.0%	60,564	100.0%	113,915	100.0%
経常収益(直接的収入)	6,920	87.8%	9,173	69.8%	7,195	49.0%
使用料・手数料	6,751	85.7%	8,990	68.4%	7,041	48.0%
その他	169	2.1%	183	1.4%	154	1.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	958	12.2%	3,969	30.2%	7,489	51.0%
国庫補助金	958	12.2%	3,969	30.2%	7,489	51.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	7,878	100.0%	13,142	100.0%	14,684	100.0%
年間コスト	▲39,076		▲47,422		▲99,231	

30	年間利用者数	41,241人	57,909人	50,651人
31	延床面積当たりコスト	6,160円/㎡	7,476円/㎡	15,643円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	948円/人	819円/人	1,959円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	33円/人	40円/人	85円/人
34	有形固定資産減価償却率	100.0%	100.0%	100.0%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建築		② 電気設備		③ 機械設備		
35	主な建築・設備	屋根仕上:シート防水		受変電:屋内型キュービクル式		冷暖房:温水方式		
		外壁仕上:コンクリート打た、モルタル塗		発電:屋外型ディーゼル		給水:高置水槽方式		
		床仕上:木製フローリング		警報:自動火災報知装置、非常ベル		排水:公共下水道		
		壁仕上:コンクリート打た		構内交換:電子交換機		給湯:温水発生器・ガス沸騰器		
		天井仕上:石こうボード		電機時計設備		消火:屋内消火栓・粉末消火		
36	劣化度調査	壁、天井にひび割れ		LEDスイッチ機能不良				
37	定期点検	天井にひび割れ(R5)						
		手すりひび割れ(R5)						
		タイル剥がれ(R5)						
38	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	屋根等改修工事(H23)【29】		非常用発電機取替工事(H21)【3】		ボイラー煙突内部改修工事(H26)【9】		
		アリーナ床研磨塗装等改修工事(H24)【8】		自動火災報知更新工事(R4)【9】		給排水管全面改修工事(H26)【95】		
		アリーナ天井修繕工事(H28)【126】		照明LED化工事(R5)【70】		都市ガス管改修工事(H29)【11】		
39	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
		国庫					0百万円	
		県債			2百万円	64百万円	66百万円	
		一般財源		2百万円	7百万円	6百万円	4百万円	19百万円
		その他						0百万円
計	0百万円	2百万円	9百万円	70百万円	4百万円	85百万円		

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
40	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)		施策上の必要性		高	
41	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)		代替の可能性		低	

6 今後の方向性(たたき台)

施設の方向性		機能の方向性	集約化	建物の方向性	更新
42	施設の方向性	他の県営体育施設(パラアリーナ)と集約化した高機能(バリアフリー対応、空調整備等)の体育館整備を検討する。 【県営スポーツ施設のあり方に関する報告書】 → 県勤労身体障がい者体育館と集約した高機能の体育館整備を検討			
43					

7 長寿命化等対策の方向性等

44	長寿命化等対策の方向性	・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。						
45	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計	
		・アリーナ照明版制御交換工事 ・アリーナ天井改修工事	・アリーナ床塗装改良工事 ・暖房用ボイラー交換工事 ・室内用競技用デジタルタイマー	・受電設備更新工事	・シャワー専用ガス給湯器取替 ・北側階段シーリング打替工事 ・LEDリース使用料	・南側雨水管改修 ・LEDリース使用料		
46	概算費用(見込)	32 百万円	14 百万円	9 百万円	11 百万円	21 百万円	87 百万円	
		国庫					0 百万円	
		県債	23 百万円					23 百万円
		一般財源	9 百万円	14 百万円	9 百万円	11 百万円	21 百万円	64 百万円
		その他						0 百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要								
1	施設名称	岩手県営スケート場		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月	
2	所在地	盛岡市みたけ五丁目39-2		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産	
3	所管課	文化スポーツ部スポーツ振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当	
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	工業地域	
5	敷地面積	26,808.02 m ²		建築面積	3,130.01 m ²	延床面積	3,405.20 m ²	
6	竣工年度 (建築年月)	1972年11月		経過年数 (R7.4.1現在)	52年	施設内棟数	6棟	
7	設置根拠	有 社会教育法(努力義務)、スポーツ基本法(努力義務)、地方自治法(-)				年間目標利用者数	18,000人	
8	設置目的	体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため設置している。						
9	施設の概況	<p>岩手県営スケート場は、国内有数の屋外スケートリンクとして、全国大会で来県する選手・監督・コーチから高い評価を得ており、昭和48年1月のオープン以来、冬季スケート国体をはじめ多くの大会を開催してきた。400mのスピードリンクのほか、アイスホッケーリンク、フィギュアリンクも併設。近年では夏季にインラインスケートによる練習にも利用されるほか、アスリートやスポーツ競技団体をサポートするためのスポーツ医・科学測定室も食堂棟に併設されたことから、年間通した利用がある。</p> <p>施設としては、管理・観客席棟(収容人員:観覧席1,660人)、スピードリンク(400m×15m)1面、インラインスケートリンク(200m×6m)1面、アイスホッケーリンク(60m×29m)1面、フィギュアリンク(60m×29m)1面、附帯施設として、食堂、休憩室、休憩場等がある。</p> <p>普通車290台分の駐車場を整備している。</p>						
10	類似施設	公共	有	盛岡市アイスリンク	民間	無		
11	未利用設備	無			大規模改修	有	S63:リンク改修、冷凍機等更新工事	
12	使用許可等の有無	無						
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	○ 体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため設置している。					
		②建物が提供する機能	○ 400mのスピードリンクを有し、国スポ冬季大会やインターハイのスケート競技会等の全国規模の競技会・大会等で活用されている。 ○ アスリートや競技団体をサポートするためのスポーツ医・科学測定室を食堂棟に併設している。					
		③設置目的の適合性	○ 本施設には、引き続き、体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与する意義があると考えられる。					
		④施策上の必要性	○ スケート場については、400mのスピードリンクを有する県内唯一の施設であり、アスリート育成や競技力向上の観点から、長期的に県営の施設として維持していくことが必要である。					
		⑤建物の必要性	○ 競技スポーツにおいては、各種基準に適合した施設が必要である。					
		⑥類似施設への代替可能性	○ スケート場については、400mのスピードリンクを有する県内唯一の施設であり、アスリート育成や競技力向上の観点から、長期的に県営の施設として維持していくことが必要である。					
		⑦今後の方向性	○ 令和6年9月に取りまとめた、「県営スポーツ施設のあり方に関する報告書」を踏まえ、県代表クラス以上のアスリート育成や競技力向上に注力するため、長期的に県営の施設として維持していくとともに、老朽化対策や機能性向上に向けた改修を行うことが望ましいが、長期的に継続していくための大規模改修には多額の費用が必要となり、現状維持は難しい状況にある。 県営スケート場のあり方について、競技力向上や改修に係る財源確保等の観点から、幅広い検討をする必要がある。					
		⑧利用者推移の分析	○ 利用が冬季に集中する。 ○ コロナ禍においては、利用者数は減少した。 ○ スポーツ施設の一般的な課題として、平日(日中)の利用者の確保が挙げられる。					
		⑨設置目的の達成に向けたKGI	○ 生涯スポーツの推進という観点から施設利用者数をKGIとして設定。 【現状値(R5)】17,814人 【目標値(R11)】18,000人(現状維持)					
14	主要棟	名称	管理棟			現況写真		
15		構造	RC造	種目	事務所建			
16		階数	地上	地上1階建て	地下			
17		建築面積	1,784.00m ²		延床面積			1,784.00m ²
18		建築年月日	1972年11月		法定耐用年数			50年
19		耐震診断	不要		耐震改修			不要
20		その他特記事項	1988年リンク改修、冷凍機等更新工事					

2 利用状況

21	開館日数	282日			開館時間	平日 13:00~20:00 土曜日・冬休み期間 10:00~20:00 日曜日・祝日 10:00~18:00	年間利用者数	17,814人						
22	R5 利用 状況	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23		(内訳・平日)	0	10	1	14	22	0	0	838	2,444	2,498	852	0
24		(内訳・休日)	24	56	38	16	29	35	20	866	3,697	3,112	3,242	0
25	利用者数内訳・団体	5,757人					利用者数内訳・個人	12,057人						
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)		▲ 26.5%	
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (S47年10月時点)	1,359,717人		現在【B】 (R6年4月時点)	1,150,784人		増減率 (マクロデータ)		▲ 15.4%				
28	令和5年度 施設利用者推移	<p style="text-align: center;">R5 利用者数(月別、平日・祝休日別)</p>												

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	128,661	100.0%	134,131	100.0%	112,859	100.0%
人件費	8,051	6.3%	11,357	8.5%	9,296	8.2%
物件費等	78,652	61.1%	97,262	72.5%	84,516	74.9%
維持修繕費	11,765	9.1%	10,791	8.0%	9,857	8.7%
減価償却費	30,193	23.5%	14,721	11.0%	9,190	8.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	128,661	100.0%	134,131	100.0%	112,859	100.0%
経常収益(直接的収入)	6,063	74.1%	6,252	36.4%	6,056	44.5%
使用料・手数料	5,689	69.5%	5,749	33.5%	5,662	41.6%
その他	374	4.6%	503	2.9%	394	2.9%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等(間接的収入)	2,120	25.9%	10,903	63.6%	7,563	55.5%
国庫補助金	2,120	25.9%	10,903	63.6%	7,563	55.5%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	8,183	100.0%	17,155	100.0%	13,619	100.0%
年間コスト	▲ 120,478		▲ 116,976		▲ 99,240	

30	年間利用者数	21,742人	21,661人	17,814人
31	延床面積当たりコスト	35,381円/㎡	34,352円/㎡	29,144円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	5,541円/人	5,400円/人	5,571円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	101円/人	99円/人	85円/人
34	有形固定資産減価償却率	86.4%	88.2%	89.4%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

35	番号:建物名称		管理棟				機械棟				食堂棟				
36	構造 / 種目		RC造		事務所建		S造		雑屋建		S造		事務所建		
37	階数		地上	1階	地下		地上	1階	地下		地上	2階	地下		
38	建築面積		1,784.00 m ²				450.00 m ²				382.21 m ²				
39	延床面積		1,784.00 m ²				450.00 m ²				657.40 m ²				
40	建築年月		1972年11月		耐用年数	50年	1972年11月		耐用年数	31年	1997年10月		耐用年数	38年	
41	耐震診断 / 耐震改修		済		済		済		済		済		済		
42	その他特記事項														
43	主な建築・設備	建築	屋根仕上:金属				屋根仕上:金属				屋根仕上:シート防水				
			外壁仕上:コンクリート打法				床仕上:コンクリート直均等				床仕上:モルタル直均等				
			床仕上:コンクリート直均等				壁仕上:塗装類				壁仕上:塗装類				
			壁仕上:コンクリート打法				天井仕上:天井なし				天井仕上:石こうボード				
		電気設備	電灯設備(蛍光灯):一般形				受変電:屋内型キュービクル式				受変電:屋内型キュービクル式				
			電灯設備(誘導灯):一般形				電灯設備(蛍光灯):一般形				電灯設備(蛍光灯):一般形				
			警報:自動火災報知装置、非常放送								警報:自動火災報知装置、非常放送				
			電気時計設備								誘導支援装置(音声誘導、トイレ呼び出し装置等)				
		機械設備	冷暖房:温水方式				給水設備:公共水道				冷暖房:局所暖房方式				
			換気設備:三種換気(排気扇)				排水設備:タンク類FRP製				換気設備:三種換気(排気扇)				
			自動制御装置:中央式監視制御				排水設備:公共下水道				給水設備:公共水道				
			給湯:温水発生器・ガス沸騰器				消火設備:屋内消火栓消火ポンプユニット				排水設備:公共下水道				
44	劣化度調査	建築	壁、天井にひび割れ				壁、天井にひび割れ				壁、天井にひび割れ				
		電気設備													
							ターボ冷凍機機能不具合								
45	定期点検	建築													
			電気設備	非常用照明器具バッテリー不良(R5)											
46	改修 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	管理棟天井改修工事(H22)【5】				機械屋根塗装工事(H21)【2】				食堂棟健康科学担当執務室改修工事(H24)【3】				
			管理棟改修工事(H26)【34】				機械棟屋根遮熱塗装工事(R3)【4】								
			貸靴室雨水管他改修工事(R6)【2】												
		電気設備					ブライン制御電動弁交換(H30)【4】								
機械設備					水温制御装置タッチパネル交換(H29)【4】										
					加圧給水ポンプ交換工事(R6)【3】										
					ターボ冷凍機冷却塔修繕工事(R6)【14】										
47	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計		
	国庫												0百万円		
	県債				3百万円						1百万円		4百万円		
	一般財源				5百万円						20百万円		25百万円		
	その他												0百万円		
計		0百万円		8百万円		0百万円		0百万円		21百万円		29百万円			

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)		施策上の必要性		高	
49	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)		代替の可能性		高	

6 今後の方向性(たたき台)

50	施設全体の方針	機能の方向性	廃止	建物の方向性	解体
		施設の性格上、利用期間と利用者が限定されるため、経費効率が低い状況にあることにはやむを得ない事情があるものの、施設の老朽化が激しく、長期的に継続していくための大規模改修には多額の費用が必要となり、現状維持は難しい状況にある。 一方、近隣類似施設による代替は難しいため、県営スケート場のあり方について、競技力向上や改修に係る財源確保等の観点から幅広い検討をする必要がある。 【県営スポーツ施設のあり方に関する報告書】 → 長期的に維持			

7 長寿命化等対策の方向性等

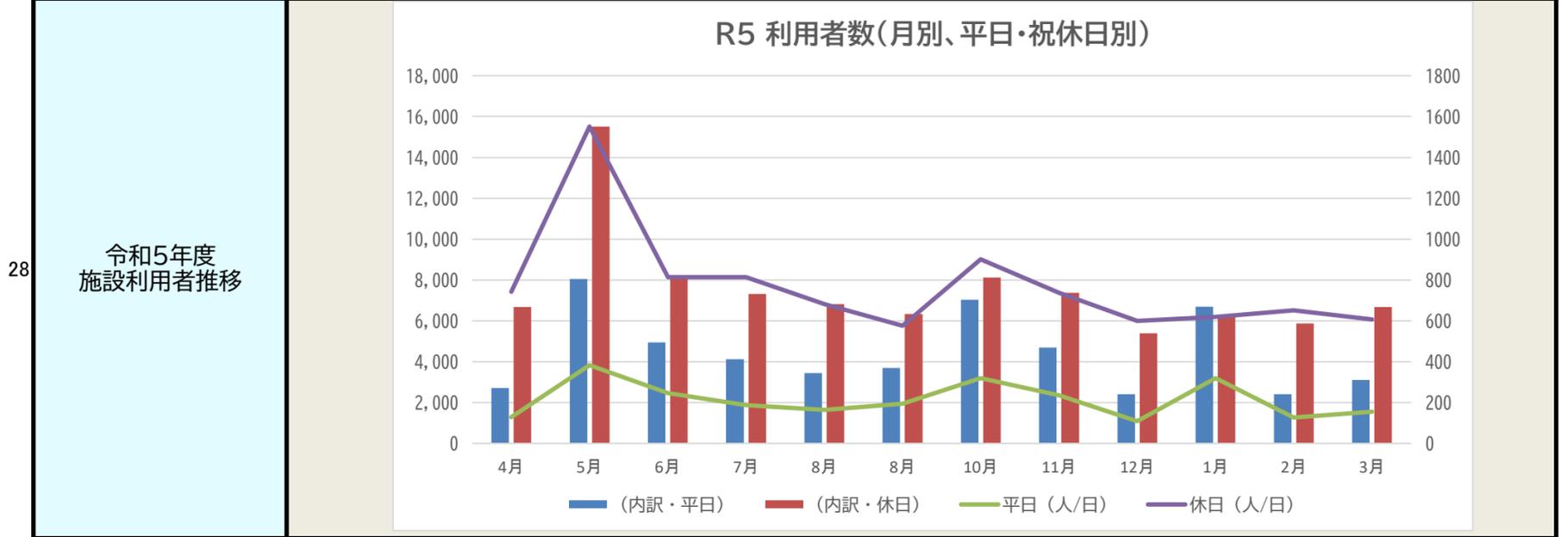
51	長寿命化等対策の方向性	・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
52	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		・自動火災報知設備更新工事	・製氷車購入 ・ターボ冷凍機操作盤改修 ・ターボ冷凍機維持修繕 ・管理棟躯体調査	・リンクネット支柱塗装 ・スケート靴購入 ・管理棟躯体工事 ・ターボ冷凍機操作盤改修 ・スケートリンク改修 ・LEDリース使用料	・食堂棟防水工事 ・スケートリンク手すり改修 ・天然性ゴムマット購入 ・スケートリンク改修 ・LEDリース使用料	・真空式温水発生器煙突改修 ・LEDリース使用料	
53	概算費用(見込)	12 百万円	95 百万円	628 百万円	439 百万円	3 百万円	1,177 百万円
	国庫						0 百万円
	県債	8 百万円					8 百万円
	一般財源	4 百万円	95 百万円	628 百万円	439 百万円	3 百万円	1,169 百万円
	その他						0 百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要								
1	施設名称	岩手県営武道館		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月	
2	所在地	盛岡市みたけ三丁目261番2、298番1		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産	
3	所管課	文化スポーツ部スポーツ振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当	
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	工業地域	
5	敷地面積	18,498.86 m ²		建築面積	6,860.49 m ²	延床面積	7,719.51 m ²	
6	竣工年度 (建築年月)	1986年10月		経過年数 (R7.4.1現在)	38年	施設内棟数	3棟	
7	設置根拠	有 社会教育法(努力義務)、スポーツ基本法(努力義務)、地方自治法(-)				年間目標利用者数	144,000人	
8	設置目的	体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため、設置している。						
9	施設の概況	<p>昭和61年に弓道場及び相撲場、平成2年に大道場、柔道場及び剣道場が整備され、武道館としての全容を整えた。平成2年の全施設の供用開始以来、柔道、剣道、弓道、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなたなどの数多くの全国規模の大会や研修会が開催され、本県武道の中核施設として、武道の普及と振興の役割を果たしている。また、大道場を有する県内唯一の施設である。</p> <p>施設としては、弓道場(近的場(競技機能:12人立ち、観客席150人、会議室2室、更衣室、鑑的場)、遠的場(競技機能:6人立ち、鑑的場))、相撲場(競技機能:土俵1面、屋外練習場、観客席500人、シャワー室)、大道場(競技機能:柔道・剣道6面、バレーボール2面、テニス2面、バドミントン6面、卓球18面、ハンドボール1面、観客席(固定席1,000席・アリーナ移動席2,000席)、会議室2室、ステージ、舞台控室2室、医務室、応接室、トレーニング室各1室等)、柔道場(競技機能:試合場2面、更衣室、シャワー室、師範室)、剣道場(競技機能:試合場2面、更衣室、シャワー室、師範室)等がある。</p> <p>普通車139台分の駐車場を整備している。</p>						
10	類似施設	公共	有	盛岡市立武道館、盛岡市弓道場、松尾相撲場	民間	無		
11	未利用設備	無		大規模改修	有	H27:天井改修工事		
12	使用許可等の有無	無						
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	○ 体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達を図るため設置している。					
		②建物が提供する機能	○ 本県武道の中核施設として大道場を有する県内唯一の大規模な武道専用施設である。					
		③設置目的の適合性	○ 本施設には、引き続き、体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与する意義があると考えられる。					
		④施策上の必要性	○ 県営武道館については、県内唯一の大規模な武道専用施設であり、全国規模の競技会・大会等を開催している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。					
		⑤建物の必要性	○ 競技スポーツにおいては、各種基準に適合した施設が必要である。					
		⑥類似施設への代替可能性	○ 県営武道館については、県内唯一の大規模な武道専用施設であり、全国規模の競技会・大会等を開催している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。					
		⑦今後の方向性	○ 令和6年9月に取りまとめた、「県営スポーツ施設のあり方に関する報告書」を踏まえ、市町村が保有していない施設機能については、補完的に担う県の役割として改修等を検討していく。					
		⑧利用者推移の分析	○ コロナ禍においては、利用者数は減少した。 ○ スポーツ施設の一般的な課題として、平日(日中)の利用者の確保が挙げられる。					
		⑨設置目的の達成に向けたKGI	○ 生涯スポーツの推進という観点から施設利用者数をKGIとして設定。 【現状値(R5)】143,726人 【目標値(R11)】144,000人(現状維持)					
14 15 16 17 18 19 20	主要棟	名称	大道場			現況写真		
		構造	RC造	種目	事務所建			
		階数	地上	地上2階建て	地下			
		建築面積	5,459.76 m ²		延床面積			6,480.96 m ²
		建築年月日	1992年2月		法定耐用年数			50年
		耐震診断	不要		耐震改修			不要
		その他特記事項	2018年高圧受変電設備改修					

2 利用状況

21	開館日数	314日			開館時間	8:00~21:00		年間利用者数	143,726人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	9,390	23,555	13,080	11,448	10,267	10,031	15,155	12,069	7,793	12,879	8,275	9,784
24	(内訳・休日)	2,710	8,048	4,936	4,127	3,444	3,692	7,036	4,698	2,404	6,694	2,409	3,102
25	利用者数内訳・団体	139,876人					利用者数内訳・個人	3,850人					
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)		
		183,917人	168,735人		72,097人		86,776人		118,941人		14.0%		
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (S61年10月時点)	1,429,808人		現在【B】 (R6年4月時点)	1,150,784人		増減率 (マクロデータ)		▲ 19.5%			



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	135,226	100.0%	137,183	100.0%	126,401	100.0%
人件費	28,943	21.4%	25,093	18.3%	22,153	17.5%
物件費等	41,355	30.6%	47,547	34.7%	39,511	31.3%
維持修繕費	4,322	3.2%	3,937	2.9%	4,131	3.3%
減価償却費	60,606	44.8%	60,606	44.2%	60,606	47.9%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	135,226	100.0%	137,183	100.0%	126,401	100.0%
経常収益(直接的収入)	8,685	86.0%	11,977	68.2%	13,751	76.0%
使用料・手数料	8,436	83.6%	11,720	66.8%	13,525	74.8%
その他	249	2.5%	257	1.5%	226	1.2%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等(間接的収入)	1,411	14.0%	5,576	31.8%	4,340	24.0%
国庫補助金	1,411	14.0%	5,576	31.8%	4,340	24.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	10,096	100.0%	17,553	100.0%	18,091	100.0%
年間コスト	▲ 125,130		▲ 119,630		▲ 108,310	

30	年間利用者数	86,776人	118,941人	143,726人
31	延床面積当たりコスト	16,210円/㎡	15,497円/㎡	14,031円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	1,442円/人	1,006円/人	754円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	105円/人	101円/人	93円/人
34	有形固定資産減価償却率	69.3%	71.4%	73.6%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

35	番号:建物名称		弓道場				大道場					
36	構造 / 種目		RC造		雑屋建		RC造		事務所建			
37	階数		地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	地下
38	建築面積		1,248.18 m ²				5,459.76 m ²					
39	延床面積		1,086.00 m ²				6,480.96 m ²					
40	建築年月		1986年10月		耐用年数	38年	1990年2月		耐用年数	50年	耐用年数	
41	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
42	その他特記事項											
43	主な建築・設備	建築	屋根仕上:金属				屋根仕上:金属					
			外壁仕上:コンクリート打法、モルタル塗				外壁仕上:コンクリート打法、モルタル塗					
			床仕上:木製フローリング				床仕上:木製フローリング					
			壁仕上:コンクリート打法				壁仕上:コンクリート打法					
	電気設備	電灯設備(蛍光灯):一般形				受変電:屋内型キュービクル式						
		電灯設備(誘導灯):一般形				発電:屋内型ディーゼル						
		警報:自動火災報知装置、非常放送				警報:自動火災報知装置、非常ベル						
		構内交換:電子交換機				構内交換:電子交換機						
	機械設備	給水設備:水道直結式				冷暖房:温水方式						
		排水:公共下水道				熱源設備:真空式温水発生機						
		給湯設備:ガス湯沸器				排水:公共下水道						
		消火設備:粉末消火				給湯:真空式温水発生器						
44	劣化度調査	建築	雨樋さびあり				雨樋さびあり					
			壁に多数のひび割れ				壁に多数のひび割れ					
		電気設備	蓄電池が弱っている				蓄電池が弱っている					
45	定期点検	建築	雨樋さびあり(R5)				雨樋さびあり(R5)					
		電気設備										
		機械設備										
46	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建築	弓道場巻藁場改修工事(H21)【13】									
			弓道場防矢ネット張替工事(H30)【5】									
			弓道場防矢ネット張替工事(R3)【4】									
		電気設備					大道場照明設備更新工事(H19)【2】					
							高圧ケーブル交換工事(H27)【2】					
							高圧受変電設備改修工事(H30)【27】					
機械設備					トイレ改修工事(R3)【21】							
					大道場光電子機分離型感知器取替工事(R4)【3】							
					自動火災報知設備更新工事(R6)【23】							
47	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計				
	国庫							0百万円				
	県債						19百万円	19百万円				
	一般財源		3百万円	27百万円	3百万円		4百万円	37百万円				
	その他							0百万円				
計		3百万円	27百万円	3百万円	0百万円	23百万円	56百万円					

5 施設評価

48	1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
49	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
50	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

51	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		当該施設は、大道場を有する県内唯一の大規模な武道専用施設であることから、大規模修繕等による長寿命化を検討することが望ましい。 【県営スポーツ施設のあり方に関する報告書】 → 長期的に維持			

7 長寿命化等対策の方向性等

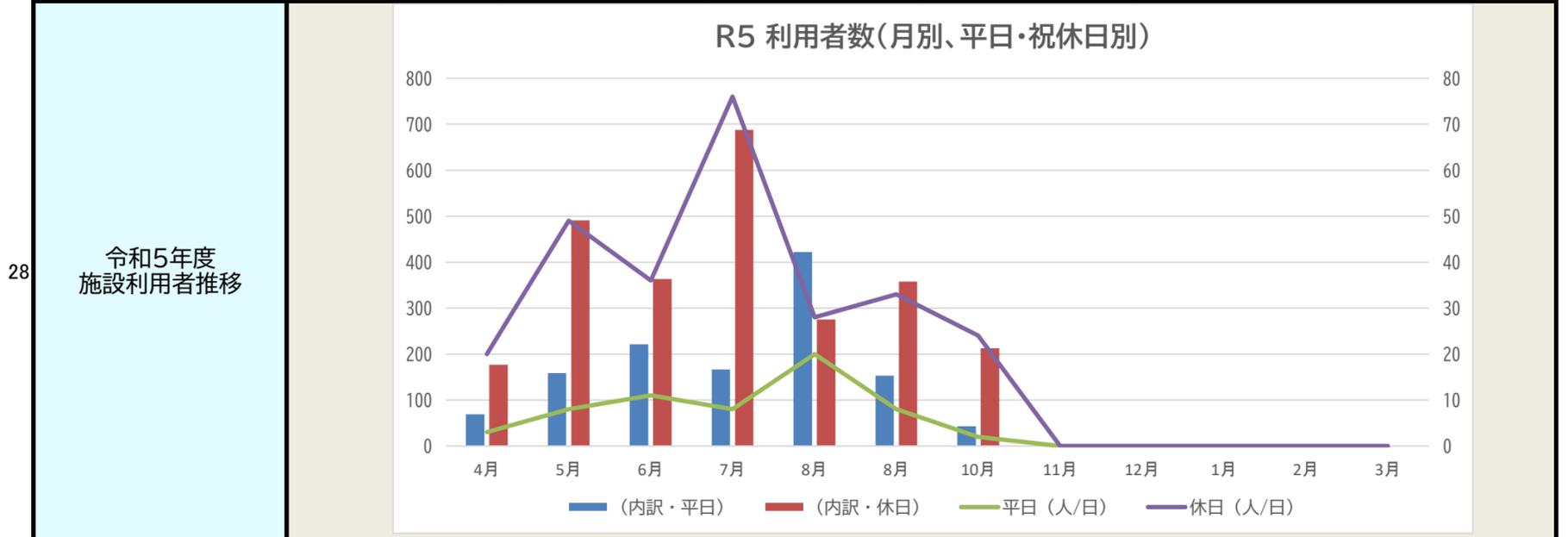
52	長寿命化等対策の方向性	・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組んでいく。					
53	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・大道場冷房設備設置工事設計 ・照明制御盤更新 ・LEDリース使用料	・大道場冷房設備設置工事 ・大道場屋根等断熱改修工事 ・暖房設備不凍液交換工事 ・LEDリース使用料	・大道場冷房設備設置工事 ・暖房循環ポンプ更新 ・電気室内送高圧ケーブル更新 ・大道場暖房用ボイラー交換工事 ・非常用放送設備更新工事	・大道場通気口改修工事 ・弓道場安土入替 ・大道場オーバースライダー修繕 ・直流電源蓄電池更新 ・非常用蓄電池更新 ・トイレ換気ファン更新	
54	概算費用(見込)	0 百万円	26 百万円	158 百万円	158 百万円	26 百万円	368 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		26 百万円	158 百万円	158 百万円	26 百万円	368 百万円
	その他						0 百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要								
1	施設名称	岩手県立御所湖広域公園艇庫		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月	
2	所在地	盛岡市繁字除キ4-1		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産	
3	所管課	文化スポーツ部スポーツ振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当	
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし	
5	敷地面積	8,593.57 m ²		建築面積	688.95 m ²	延床面積	1,224.70 m ²	
6	竣工年度 (建築年月)	1983年9月		経過年数 (R7.4.1現在)	41年	施設内棟数	1棟	
7	設置根拠	有 都市公園法(-)				年間目標利用者数	4,000人	
8	設置目的	広く県民に運動の機会を提供し、生涯スポーツを推進するとともに、体育、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として、指導者の養成及び活用促進を図るため、設置している						
9	施設の概況	<p>岩手県立御所湖広域公園艇庫は、北上川五大ダムの最後である御所ダムの完成時期に合わせ、昭和58年9月に艇庫が整備されて以来、2000mコースを持つ国内有数の日本ボート協会公認ボートコースとして、県民体育大会はじめ東北総合体育大会、全日本社会人実業団漕艇競技大会等が開催されている。</p> <p>施設としては、鉄骨造2階建て(艇格納庫、管理室、休憩室、会議室)、設備(漕艇用ボート、カヌー、審判艇、トレーニング用具)等がある。</p> <p>また、コースは、日本漕艇協会B級公認コース(2,000m×6レーン、1,000m×6レーン)となっている。</p> <p>普通車20台(バス5台)分の駐車場を整備している。</p>						
10	類似施設	公共	有	田瀬湖ボート場、錦秋湖ボート場	民間	無		
11	未利用設備	無		大規模改修	有	H14:艇庫屋根改修		
12	使用許可等の有無	無						
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	○ 広く県民に運動機会を提供し、生涯スポーツを推進するとともに、体育、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として、指導者の養成及び活用促進を図るため設置している。					
		②建物が提供する機能	○ 県内2か所の日本ローリング協会公認B級ボートコース漕艇場の一つであり、全国規模のカヌー競技は御所湖を中心に実施されている。					
		③設置目的の適合性	○ 本施設には、引き続き、広く県民に運動機会を提供し、生涯スポーツを推進するとともに、体育、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として、指導者の養成及び活用促進を図る意義があると考えられる。					
		④施策上の必要性	○ 艇庫については、全国規模の競技会・大会等で使用している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが必要である。					
		⑤建物の必要性	○ 競技スポーツにおいては、各種基準に適合した施設が必要である。					
		⑥類似施設への代替可能性	○ 艇庫については、全国規模の競技会・大会等で使用している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが必要である。					
		⑦今後の方向性	○ 令和6年9月に取りまとめた、「県営スポーツ施設のあり方に関する報告書」を踏まえ、全国規模の競技会・大会を開催できる競技場については、長期的に県営の施設として維持していくとともに、老朽化対策や機能性向上に向けた改修を行う。					
		⑧利用者推移の分析	○ コロナ禍においては、利用者数は減少した。 ○ スポーツ施設の一般的な課題として、平日(日中)の利用者の確保が挙げられる。					
		⑨設置目的の達成に向けたKGI	○ 生涯スポーツの推進という観点から施設利用者数をKGIとして設定。 【現状値(R5)】 3,799人 【目標値(R11)】 4,000人(現状維持)					
14 15 16 17 18 19 20	主要棟	名称	艇庫			現況写真		
		構造	S造	種目	事務所建			
		階数	地上	地上2階建て	地下			
		建築面積	688.95 m ²		延床面積			1,224.70 m ²
		建築年月日	1983年3月		法定耐用年数			38年
		耐震診断	不要		耐震改修			不要
		その他特記事項	2002年艇庫屋根改修工事					

2 利用状況

21	開館日数	167日			開館時間	9:00～17:00		年間利用者数	3,799人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	246	650	584	855	697	511	256	0	0	0	0	0
24	(内訳・休日)	69	159	221	167	422	153	43	0	0	0	0	0
25	利用者数内訳・団体	2,846人					利用者数内訳・個人		953人				
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)		
		8,950人	8,342人		6,918人		5,784人		6,389人		▲47.8%		
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (S42年10月時点)	1,427,061人		現在【B】 (R6年4月時点)	1,150,784人		増減率 (マクロデータ)		▲19.4%			



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
経常費用	23,464	100.0%	22,396	100.0%	19,822	100.0%
人件費	10,313	44.0%	12,764	57.0%	10,928	55.1%
物件費等	8,421	35.9%	6,322	28.2%	5,804	29.3%
維持修繕費	1,711	7.3%	293	1.3%	307	1.5%
減価償却費	3,019	12.9%	3,017	13.5%	2,783	14.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	23,464	100.0%	22,396	100.0%	19,822	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,034	69.8%	1,062	37.7%	1,232	47.5%
使用料・手数料	955	64.5%	981	34.8%	1,161	44.7%
その他	79	5.3%	81	2.9%	71	2.7%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等(間接的収入)	447	30.2%	1,755	62.3%	1,363	52.5%
国庫補助金	447	30.2%	1,755	62.3%	1,363	52.5%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,481	100.0%	2,817	100.0%	2,595	100.0%
年間コスト	▲21,983		▲19,579		▲17,227	

30	年間利用者数	5,784人	6,389人	3,799人
31	延床面積当たりコスト	17,950円/㎡	15,987円/㎡	14,066円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	3,801円/人	3,064円/人	4,535円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	18円/人	17円/人	15円/人
34	有形固定資産減価償却率	93.4%	95.8%	98.0%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建築		② 電気設備		③ 機械設備		
35	主な建築・設備	屋根仕上:金属		受変電:屋内型キュービクル式		冷暖房方式:局所暖房方式		
		床仕上:モルタル直均し等		発電:屋外型ディーゼル		給水:加圧送水方式		
		壁仕上::塗装類		電灯設備(蛍光ランプ):一般形		給湯:温水発生器・ガス沸騰器		
		天井仕上:石こうボード		電灯設備(誘導灯):一般形				
				警報:自動火災報知装置、非常放送				
		構内交換:電子交換機						
36	劣化度調査	壁にクラックあり						
		排煙窓ワイヤー故障						
37	定期点検	壁にクラックあり(R5)						
		排煙窓ワイヤー故障(R5)						
38	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	屋根雪止設置及びフェンス取替(H17)【2】		電動シャッター改修・外灯設備更新(H20)【10】		深井戸中ポンプ等更新(H23)【5】		
		艇庫外階段補修(H23)【1】		非常照明及び非常照明バッテリー交換工事(H28)【10】		自動火災報知設備更新工事(R3)【10】		
		会議室天井ボード補修等(H23)【1】				トイレ改修工事(R3)【3】		
39	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
		国庫						0百万円
		県債						0百万円
		一般財源		4百万円			6百万円	10百万円
		その他						0百万円
計	0百万円	4百万円	0百万円	0百万円	6百万円	10百万円		

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
40	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)		施策上の必要性		高	
41	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)		代替の可能性		高	

6 今後の方向性(たたき台)

		機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
42	施設の方向性	御所湖広域公園艇庫は、県規模以上の大会、競技会等で利用されている高規格な施設が多く、他の施設との代替可能性は低い。また、都市公園内の施設として、市町村等への機能移管は困難であり、「現状維持」とする。 【県営スポーツ施設のあり方に関する報告書】 → 長期的に維持			
43					

7 長寿命化等対策の方向性等

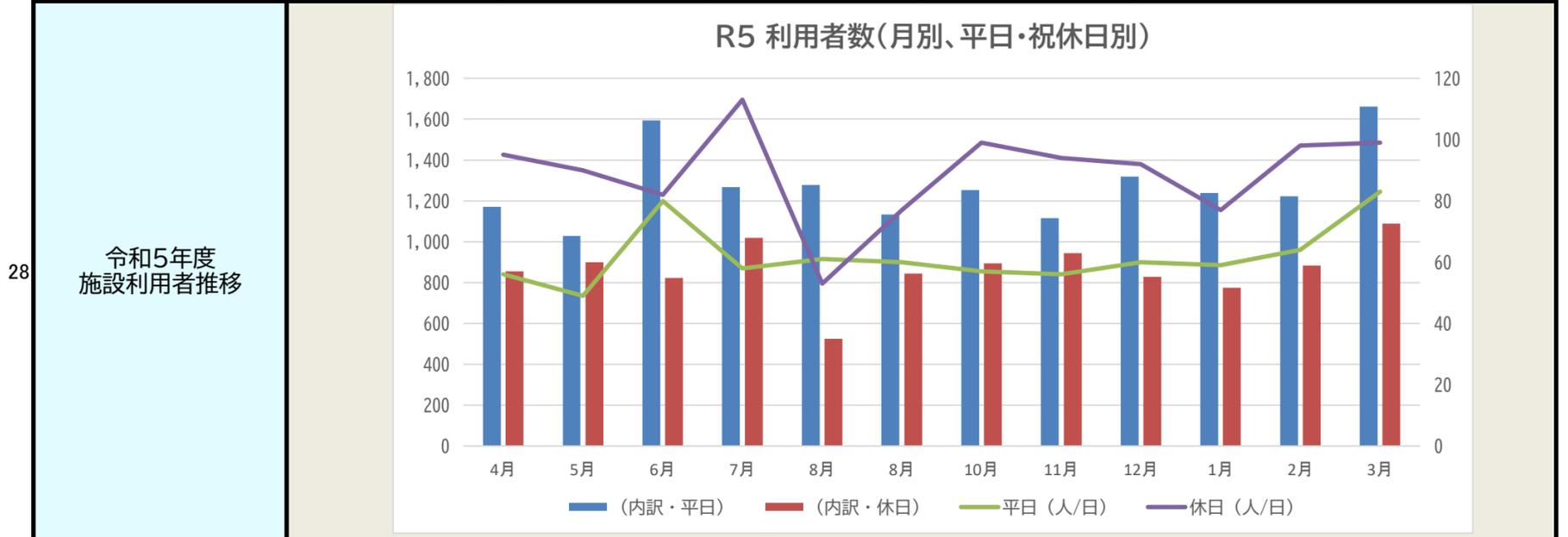
44	長寿命化等対策の方向性	・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
45	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・フェンダー(各種ブイ) ・コース用ロープ ・冷房設備設置工事設計	・冷房設備設置工事 ・LEDリース使用料	・艇庫シャッター更新 ・LEDリース使用料	・ボイラー交換工事 ・LEDリース使用料	
46	概算費用(見込)	0百万円	4百万円	3百万円	3百万円	9百万円	19百万円
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源		4百万円	3百万円	3百万円	9百万円	19百万円
	その他						0百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要							
1	施設名称	岩手県勤労身体障がい者体育館		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	盛岡市青山四丁目201番1号		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	文化スポーツ部スポーツ振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
5	敷地面積	3,948.35 m ²		建築面積	1,269.50 m ²	延床面積	1,269.50 m ²
6	竣工年度 (建築年月)	1977年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	48年	施設内棟数	1棟
7	設置根拠	有 (身体障害者福祉法)				年間目標利用者数	26,000人
8	設置目的	勤労身体障がい者のスポーツの普及振興を図り、もって勤労意欲の高揚と福祉の向上に資するため、設置している。					
9	施設の概況	<p>勤労身体障がい者のスポーツの普及と振興を図るため、県と雇用促進事業団が共同で整備した。障がい者が利用しやすいよう施設内に自動扉や、広いトイレを設置するなど、身体障がい者や聴覚障がい者、視覚障がい者が安全に使用できるよう配慮した施設であるが、近年は、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむ施設として広く利用されている。</p> <p>施設としては、体育室(競技機能:バスケットボールコート1面、バレーボールコート2面、バトミントンコート2面、テニスコート1面)、事務室、トレーニング室、シャワー付更衣室、ロビー、器具室等がある。</p> <p>障がい者利用含め、普通車30台分の駐車場を整備している。</p>					
10	類似施設	公共	有	岩手県営体育館、盛岡市総合アリーナ、ふれあいランド岩手	民間	無	
11	未利用設備	無		大規模改修	有	H4:屋根、床、外部改修ほか	
12	使用許可等の有無	無					
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	○ 勤労身体障がい者のスポーツの普及振興、勤労意欲の高揚と福祉の向上を図るため設置している。				
②建物が提供する機能		○ バスケットボールコート1面(バレーボールコート2面、バトミントンコート2面、テニスコート1面)を有し、自動扉や広いトイレを設置するなど、身体障がい者が安全に使用できるよう配慮した施設である。					
③設置目的の適合性		○ 本施設には、引き続き、勤労身体障がい者のスポーツの普及振興、勤労意欲の高揚と福祉の向上を図る意義があるものと考えられる。					
④施策上の必要性		○ 県勤労身体障がい者体育館の機能については、県内の障がい者スポーツの振興のためにも、長期的に県営の施設として維持していくことが必要である。 ○ 一方、障がい者以外の利用も多いことを考慮する必要がある。					
⑤建物の必要性		○ 競技スポーツにおいては、各種基準に適合した施設が必要である。					
⑥類似施設への代替可能性		○ 施設・設備の改修コストが多額であることや障がい者以外の利用が多いことを考慮すると、同等の機能を有する県営体育館等と集約し、高機能の体育館整備について検討する必要がある。					
⑦今後の方向性		○ 令和6年9月に取りまとめた、「県営スポーツ施設のあり方に関する報告書」を踏まえ、老朽化した施設の整理・統合等を進めていく。 ○ 同等の機能を有する県営体育館と集約し、高機能の体育館整備について検討を行う。					
⑧利用者推移の分析		○ コロナ禍においては、利用者数は減少した。 ○ スポーツ施設の一般的な課題として、平日(日中)の利用者の確保が挙げられる。					
⑨設置目的の達成に向けたKGI		○ 生涯スポーツの推進という観点から施設利用者数をKGIとして設定。 【現状値(R5)】 25,654人 【目標値(R11)】 26,000人(現状維持)					
14	主要棟	名称	体育館			現況写真	
15		構造	RC造	種目	事務所建		
16		階数	地上	地上2階建て	地下		
17		建築面積	1,269.50m ²	延床面積	1,269.50m ²		
18		建築年月日	1977年3月	法定耐用年数	50年		
19		耐震診断	済	耐震改修	済		
20		その他特記事項	2018年耐震改修等工事				

2 利用状況

21	開館日数	314日			開館時間	9:00～ 21:00		年間利用者数	25,654 人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	2,024	1,927	2,417	2,286	1,803	1,978	2,146	2,060	2,146	2,013	2,105	2,749
24	(内訳・休日)	1,170	1,028	1,594	1,267	1,278	1,133	1,252	1,116	1,318	1,239	1,222	1,661
25	利用者数内訳・団体	22,522 人					利用者数内訳・個人		3,132 人				
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)		
		12,869人	25,091人		24,109人		22,244人		24,932人		17.4%		
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (S52年10月時点)	1,398,858人		現在【B】 (R6年4月時点)		1,150,784人		増減率 (マクロデータ)		▲ 17.7%		



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
経常費用	29,945	100.0%	29,997	100.0%	39,785	100.0%
人件費	13,399	44.7%	13,675	45.6%	13,511	34.0%
物件費等	13,632	45.5%	13,943	46.5%	9,753	24.5%
維持修繕費	1,114	3.7%	1,116	3.7%	15,703	39.5%
減価償却費	1,800	6.0%	1,263	4.2%	818	2.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	29,945	100.0%	29,997	100.0%	39,785	100.0%
経常収益(直接的収入)	3,243	83.6%	3,704	60.0%	3,757	67.3%
使用料・手数料	3,131	80.8%	3,590	58.2%	3,662	65.6%
その他	112	2.9%	114	1.8%	95	1.7%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等(間接的収入)	634	16.4%	2,466	40.0%	1,828	32.7%
国庫補助金	634	16.4%	2,466	40.0%	1,828	32.7%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	3,877	100.0%	6,170	100.0%	5,585	100.0%
年間コスト	▲ 26,068		▲ 23,827		▲ 34,200	

30	年間利用者数	22,244人	24,932人	25,654人
31	延床面積当たりコスト	20,534円/㎡	18,769円/㎡	26,940円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	1,172円/人	956円/人	1,333円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	22円/人	20円/人	29円/人
34	有形固定資産減価償却率	61.0%	62.5%	63.4%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建築		② 電気設備		③ 機械設備		
35	主な建築・設備	屋根仕上:金属		電灯設備(蛍光灯):一般形		冷暖房:温水方式		
		外壁仕上:コンクリート打		電灯設備(誘導灯):一般形		給水:加水送水方式		
		床仕上:木製フローリング		警報:自動火災報知装置、非常ベル		排水:公共下水道		
		壁仕上:コンクリート打		拡声設備		給湯:温水発生器・ガス沸騰器		
		天井仕上:石こうボード						
36	劣化度調査	機械室:わずかな隙間(小動物侵入)		外灯:錆あり		受水槽変:変色、変形		
				分電盤(外):錆あり				
37	定期点検			非常灯照明器具バッテリー不良(R5)				
38	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	スロープ改修及び門扉設置(H23)【2】		重油漏洩改修等(H2)【2】		自動火災報知設備更新工事(R6)【1】		
		耐震改修ほか(H30)【32】		給湯設備改修(H9)【2】				
		屋上防水改修工事(R5)【15】		暖房用ボイラー修繕(H21)【2】				
39	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
		国庫						0百万円
		県債			1百万円	4百万円		5百万円
		一般財源			2百万円	11百万円	1百万円	14百万円
		その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	3百万円	15百万円	1百万円	19百万円		

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
40	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)		施策上の必要性		高	
41	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)		代替の可能性		低	

6 今後の方向性(たたき台)

施設の方向性		機能の方向性	集約化	建物の方向性	売却・移管
42	施設の方向性	県又は市町村でも同様の機能を有した施設が数多くあるため、集約化を検討する。 なお、当該施設は盛岡市所有の土地に建設されていることから、盛岡市への移管なども視野に検討することが望ましい。 【県営スポーツ施設のあり方に関する報告書】 → 県営体育館と集約化			
43					

7 長寿命化等対策の方向性等

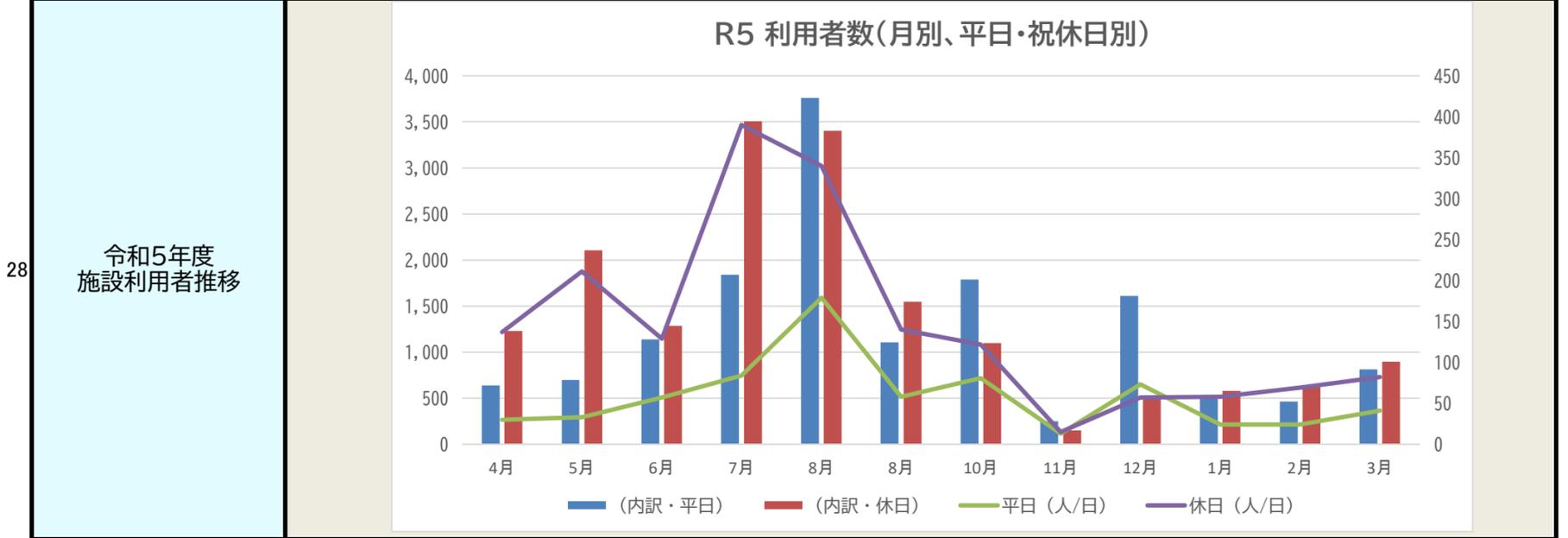
44	長寿命化等対策の方向性	・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。						
45	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計	
			・防球ネット工事	・体育館パネルタイ ル工事 ・LEDリース使用 料	・玄関ドア改修 ・アリーナ床研磨 ・LEDリース使用 料	・LEDリース使用 料		
46	概算費用(見込)	0 百万円	3 百万円	4 百万円	7 百万円	1 百万円	15 百万円	
		国庫						0 百万円
		県債						0 百万円
		一般財源		3 百万円	4 百万円	7 百万円	1 百万円	15 百万円
		その他						0 百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

1 施設概要								
1	施設名称	岩手県営屋内温水プール		策定年月	令和3年2月	最終更新	令和7年12月	
2	所在地	岩手郡雫石町長山大鉢森38-4		施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産	
3	所管課	文化スポーツ部スポーツ振興課		運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当	
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし	
5	敷地面積	60,000.46 m ²		建築面積	6,124.35 m ²	延床面積	6,115.85 m ²	
6	竣工年度 (建築年月)	1993年11月		経過年数 (R7.4.1現在)	31年	施設内棟数	2棟	
7	設置根拠	有	地方自治法(-)			年間目標利用者数	32,000人	
8	設置目的	新エネルギーの導入の促進及び省エネルギーの促進に関する条例(平成15年岩手県条例第22号)に基づき、新エネルギーの利用を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため、設置している。						
9	施設の概況	<p>雫石地域地熱熱水供給事業実証調査で建設した施設による熱水供給の実用化を図り、地域振興、住民の福祉等に活用することを目的として平成5年度に整備された。しかし、プールの熱源となっていた熱水は、平成17年度末で実証調査が終了したことから、新たな熱源として、平成19年に木質バイオマスのいわて型チップボイラーと地下水利用型ヒートポンプを組合せた複合設備が整備された。</p> <p>同施設は、50m公認プールやファミリープール、トレーニングルームなどがあり、一般遊泳はもちろん、家族連れの利用、各種競技大会、強化合宿などに広く利用されている。</p> <p>施設としては、50mプール(全長50m×幅25m、50m使用10コース(公認8)、25m使用16コース(公認16))、流水プール(長さ80.8m)、ウォータースライダー2基、幼児用プール(直径4.5m)、トレーニングルーム等がある。</p> <p>普通乗用車162台及び大型車4台分の駐車場を整備している。</p>						
10	類似施設	公共	有	盛岡市総合プール、花巻市民プール、金田一近隣公園プール	民間	無		
11	未利用設備	無		大規模改修	有	R5:外壁等改修工事		
12	使用許可等の有無	無						
13	社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	○ 新エネルギーの利用と県民の心身の健全な発達を図るため設置している。					
		②建物が提供する機能	○ 50m公認プールのほか、流水プールやウォータースライダーがあり、合宿利用のほか、近隣住民等に利用されている。					
		③設置目的の適合性	○ 本施設には、引き続き、新エネルギーの利用と県民の心身の健全な発達に寄与する意義があると考えられる。					
		④施策上の必要性	○ 屋内温水プールについては、一定の利用はあるものの、類似施設が複数あり県営の施設として維持する必要性は高くないことから、民間や地元自治体における活用を検討していく必要がある。 ○ 活用の見込みがない場合は、施設を廃止することが望ましい。					
		⑤建物の必要性	○ 競技スポーツにおいては、各種基準に適合した施設が必要である。					
		⑥類似施設への代替可能性	○ 屋内温水プールについては、一定の利用はあるものの、県営の施設として維持する必要性は高くないことから、民間や地元自治体における活用を検討していく必要がある。 ○ 民間等の活用の見込みがない場合は、施設を廃止することが望ましい。					
		⑦今後の方向性	○ 令和6年9月に取りまとめた、「県営スポーツ施設のあり方に関する報告書」を踏まえ、老朽化した施設の整理・統合等を進めていく。 ○ 民間や地元自治体の意向を踏まえながら、廃止を含め施設の利活用策について検討していく。					
		⑧利用者推移の分析	○ コロナ禍においては、利用者数は減少した。 ○ スポーツ施設の一般的な課題として、平日(日中)の利用者の確保が挙げられる。					
		⑨設置目的の達成に向けたKGI	○ 生涯スポーツの推進という観点から施設利用者数をKGIとして設定。 【現状値(R5)】 31,548人 【目標値(R11)】 32,000人(現状維持)					
14 15 16 17 18 19 20	主要棟	名称	プール棟			現況写真		
		構造	RC造	種目	事務所建			
		階数	地上	地上2階建て	地下			
		建築面積	6,124.35 m ²		延床面積			6,115.85 m ²
		建築年月日	1993年11月		法定耐用年数			50年
		耐震診断	済		耐震改修			済
		その他特記事項	2006年ファミリープール天井耐震改修工事					

2 利用状況

21	開館日数	329日			開館時間	平日:13:00~20:00 休日:10:00~17:00		年間利用者数	31,548人				
22	月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	(内訳・平日)	1,866	2,804	2,423	5,349	7,163	2,650	2,886	401	2,128	1,086	1,082	1,710
24	(内訳・休日)	637	697	1,137	1,842	3,761	1,105	1,787	250	1,612	505	465	812
25	利用者数内訳・団体	8,678人					利用者数内訳・個人	22,870人					
26	利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)		
		45,301人	40,170人		36,591人		24,601人		26,314人		▲ 8.8%		
27	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (H5年10月時点)	1,415,697人		現在【B】 (R6年4月時点)	1,150,784人		増減率 (マクロデータ)		▲ 18.7%			



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	172,458	100.0%	176,401	100.0%	174,218	100.0%
人件費	23,394	13.6%	27,259	15.5%	22,933	13.2%
物件費等	69,729	40.4%	75,598	42.9%	66,171	38.0%
維持修繕費	5,193	3.0%	6,731	3.8%	18,351	10.5%
減価償却費	74,142	43.0%	66,813	37.9%	66,763	38.3%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	172,458	100.0%	176,401	100.0%	174,218	100.0%
経常収益(直接的収入)	5,118	68.6%	4,154	28.4%	5,422	42.2%
使用料・手数料	4,703	63.0%	3,672	25.1%	5,035	39.1%
その他	415	5.6%	482	3.3%	387	3.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等(間接的収入)	2,348	31.4%	10,455	71.6%	7,439	57.8%
国庫補助金	2,348	31.4%	10,455	71.6%	7,439	57.8%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	7,466	100.0%	14,609	100.0%	12,861	100.0%
年間コスト	▲ 164,992		▲ 161,792		▲ 161,357	

30	年間利用者数	24,601人	26,314人	31,548人
31	延床面積当たりコスト	26,978円/㎡	26,455円/㎡	26,383円/㎡
32	利用者1人当たりコスト	6,707円/人	6,149円/人	5,115円/人
33	(参考)県民1人当たりコスト	138円/人	137円/人	139円/人
34	有形固定資産減価償却率	71.3%	73.0%	74.6%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建築		② 電気設備		③ 機械設備		
35	主な建築・設備	屋根仕上:金属		受変電:屋内型キュービクル式		冷暖房:温水方式		
		外壁仕上:コンクリート打た、モルタル塗		発電:屋外型ディーゼル		給水:高置水槽方式		
		床仕上:木製フローリング		警報:自動火災報知装置、非常ベル		排水:公共下水道		
		壁仕上:コンクリート打た		構内交換:電子交換機		給湯:温水発生器・ガス沸騰器		
		天井仕上:石こうボード		電機時計設備		消火:屋内消火栓・粉末消火		
				映像・音響装置		消火ポンプユニット		
36	劣化度調査	ひび割れあり						
		天井に損傷あり						
37	定期点検	ひび割れあり(R5)						
		天井に損傷あり(R5)						
38	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	ファミリープール棟屋根防水工事(H27)【8】		高圧盤修繕工事(H23)【3】		ろ過機空気作動弁・電磁弁交換工事(H28)【4】		
		外壁等改修工事(R5)【54】				ろ過制御盤PLC交換工事(H28)【3】		
		屋内温水プール天井改修工事改修工事(R6)【74】				トイレ改修工事(R3)【9】		
39	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
		国庫					0百万円	
		県債		2百万円		14百万円	19百万円	35百万円
		一般財源		7百万円		40百万円	55百万円	102百万円
		その他						0百万円
計	0百万円	9百万円	0百万円	54百万円	74百万円	137百万円		

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
40	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)		施策上の必要性		低	
41	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)		代替の可能性		低	

6 今後の方向性(たたき台)

施設の方向性		機能の方向性	廃止	建物の方向性	売却・移管
42	施設の方向性	県内に代替可能な施設が複数あることから、まずは、民間や地元自治体の活用について検討しつつ、県営施設としては廃止に向けた検討を行う。 【県営スポーツ施設のあり方に関する報告書】 → 民間や地元自治体における活用を検討し、活用の見込がない場合には廃止			
43					

7 長寿命化等対策の方向性等

44	長寿命化等対策の方向性	・今後の方向性が決定するまでは、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
45	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・AED購入	・デモセンター棟屋上等改修工事設計	・ボイラー室外壁・用具庫工事 ・管理棟屋上防水等改修工事 ・LEDリース使用料	・更衣室エアコン設置 ・コース用ロープ購入 ・LEDリース使用料	
		関係団体との調整					
46	概算費用(見込)	0百万円	2百万円	5百万円	178百万円	6百万円	191百万円
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源		2百万円	5百万円	178百万円	6百万円	191百万円
							0百万円

※上記は、現在の機能を維持すると仮定した場合における「主な維持修繕・改修の内容」であり、「6 今後の方向性(たたき台)」を踏まえ、今後、調整・精査するものであること。

岩手県公共施設カルテ(個表:県民利用施設用)

1 施設概要								
1	施設名称	旧岩手県営野球場	策定年月	令和3年2月	最終更新	令和8年3月		
2	所在地	盛岡市三ツ割四丁目9-2	施設類型	-	財産区分	普通財産		
3	所管課	文化スポーツ部スポーツ振興課	運営形態	-	防災施設等指定	非該当		
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域		
5	敷地面積	84,915.66 m ²	建築面積	7,500.17 m ²	延床面積	13,258.2m ² (スタンド部分)		
6	竣工年度 (建築年月)	1969年11月	経過年数 (R7.4.1現在)	55年	施設内棟数	4棟		
9	施設の概況	<p>旧岩手県営野球場は、昭和45年の岩手国体を前に整備して以来、全国高等学校野球選手権岩手大会の主会場・決勝会場として高校球児の聖地となっていたほか、プロ野球一軍公式戦が行われるなど多くの県民が利用、観戦し、また、多くの県出身プロ野球選手、大リーガーを送り出してきた県を代表する野球場であった。</p> <p>一方、経年により老朽化が進行したため、同様の課題を抱える盛岡市と共同で岩手県営野球場と盛岡市営野球場の代替となる「いわて盛岡ボールパーク」を盛岡南公園内に整備(令和5年4月供用開始)したため、令和5年3月31日をもって閉場した。</p> <p>旧県営野球場は、「いわて盛岡ボールパーク」の整備に活用した公共施設等適正管理推進事業債(集約化・複合化事業)の条件により、令和9年度までに解体等に着手する必要がある。</p>						
12	主要棟	名称	メインスタンド			現況写真		
13		構造	RC造	種目	事務所建			
14		階数	地上	地上2階建て	地下			
15		建築面積	4,961.69 m ²	延床面積	6,058.04 m ²			
16		建築年月日	1969年11月	法定耐用年数	50年			
17		耐震診断	済	耐震改修	済			
18		その他特記事項						

2 今後の対応

19	対応の方向性	<p>○既存建物等(スタンド等)の解体を行う。</p> <p>○更地となった跡地については、解体工事後に、社会情勢や周辺環境の変化を踏まえ、改めて活用方針を検討する。</p>					
20	対応の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		解体工事設計	解体工事等	解体工事等	解体工事等		
21	概算費用(見込)	14 百万円	2,568 百万円			0 百万円	2,582 百万円
	国庫						0 百万円
	県債	13 百万円	2,310 百万円				2,323 百万円
	一般財源	1 百万円	258 百万円				259 百万円
	その他						0 百万円